



Wnn6 上級ユーザーおよびシステム管理者ガイド

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo, CA 94043
U.S.A. 650-960-1300

Part No: 805-4183-10
1998 年 11月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。日本サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョーベイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, SunSoft, SunDocs, SunExpress, OpenWindows は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、日本サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1998 All Rights Reserved.)

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

ATOK7 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK7 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

ATOK8 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DiComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(Copyright (c) 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、日本サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

© 1998 by Sun Microsystems, Inc.



目次

- はじめに **vii**
- 1. かな漢字変換辞書 1**
 - 1.1 辞書の構成 1
 - 1.2 品詞 7
 - 1.2.1 品詞の種類 7
 - 1.2.2 品詞管理ファイル 9
 - 1.3 頻度情報ファイル 11
 - 1.4 付属語情報ファイル 12
 - 1.5 テキスト形式辞書 13
 - 1.6 辞書ユーティリティ (コマンド行) 15
 - 1.6.1 テキスト形式辞書をバイナリデータ形式辞書へ変換する 15
 - 1.6.2 バイナリデータ形式辞書をテキスト形式辞書へ変換する 15
 - 1.6.3 辞書のヘッダー書き換え 15
- 2. かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーの管理 17**
 - 2.1 かな漢字変換サーバー 17
 - 2.2 辞書引きサーバー 18
 - 2.3 アクセス制御 19
 - 2.3.1 永続的なアクセス制御の設定 19
 - 2.3.2 一時的なアクセス制御の設定 19

2.3.3	アクセス制御情報の取得	20
2.4	かな漢字変換サーバーの基本設定 (jserverrc)	21
2.4.1	起動時にあらかじめ辞書を読み込む	21
2.5	かな漢字変換サーバーの停止	22
2.5.1	かな漢字変換サーバーを停止する方法 (1)	22
2.5.2	かな漢字変換サーバーを停止する方法 (2)	23
2.6	かな漢字変換サーバーの起動	24
2.6.1	かな漢字変換サーバーを起動する方法	24
3.	オフライン学習の管理	25
3.1	オフライン学習の概要	25
3.2	オフライン学習の機能と動作	25
3.2.1	かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーのロック	25
3.2.2	登録語自動反映	26
3.2.3	学習処理	28
3.2.4	保存ディレクトリの対応ファイル作成 (Entries)	29
3.3	オフライン学習の設定	31
3.3.1	offlinerc の設定	31
3.3.2	udmergerc の設定	35
3.3.3	cron の設定	37
4.	使用許諾 (ライセンス) の管理	39
4.1	使用許諾の制御の流れ	40
4.2	ライセンスサーバーの起動	41
4.3	ライセンスの交付状況の表示と回収	41
4.4	使用許諾情報の管理に関するファイル	42
A.	Wnn6 設定ユーティリティ	43
A.1	Wnn6 設定ユーティリティの起動方法	43
A.2	システム管理用	44
A.2.1	システム管理	44

A.2.2	システムデフォルト	51
A.3	ユーザーカスタマイズ	61
A.3.1	一般ユーザー向けカスタマイズ	62
A.3.2	上級ユーザー向けカスタマイズ	64
B.	補助漢字	67
B.1	部首入力で補助漢字を使わないようにする	67
B.2	単漢字変換で補助漢字の候補を出さないようにする	67
C.	エラーメッセージ一覧	69
C.1	かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー (wnnds/jserv)	69
C.2	日本語入力インタフェース (Wnn6/Http)	72
C.3	オフライン学習ユーティリティ (wnnoffline)	74
C.4	Wnn6 辞書ユーティリティ (wnndictutil)	76
C.5	Wnn6 辞書変換ユーティリティ (wnnotow)	78
C.6	Wnn6 設定ユーティリティ (wnnenvutil)	80
C.7	ユーティリティ共通	82
	索引	89

はじめに

このマニュアルでは、Solaris™ 7 環境で使用できる日本語入力システム Wnn6 の管理方法と、日本語入力インタフェースの詳細な設定方法について説明します。Wnn6 の概要とセットアップ方法については、『日本語入力システムの概要とセットアップ』を、Wnn6 で日本語を入力する方法やかな漢字変換辞書に単語を登録する方法などについては、『Wnn6 ユーザーズガイド』をご覧ください。また、Wnn6 の最新情報については、『Solaris 7 ご使用にあたって』を参照してください。

内容の紹介

第 1 章

かな漢字変換に使用する辞書について説明します。

第 2 章

かな漢字変換サーバーと辞書引きサーバーの設定方法について説明します。

第 3 章

オフライン学習の管理方法について説明します。

第 4 章

使用許諾 (ライセンス) の管理方法について説明します。

付録 A

Wnn6 設定ユーティリティで、Wnn6 の設定を行う方法について説明します。

付録 B

補助漢字を使用しないようにする設定方法について説明します。

付録 C

Wnn6 システムから通知されるエラーメッセージについて説明します。

対象読者

このマニュアルは、日本語入力システム Wnn6 の操作に関する一般的な知識を持つ上級ユーザーおよびシステム管理者を対象としています。

関連マニュアル

- 『Solaris 7 ご使用にあたって』
- 『日本語入力システムの概要とセットアップ』
- 『Wnn6 ユーザーズガイド』

マニュアルの注文方法

SunDocs™ プログラムでは、米国 Sun Microsystems™, Inc. (以降、Sun™ とします) の 250 冊以上のマニュアルを扱っています。このプログラムを利用して、マニュアルのセットまたは個々のマニュアルをご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、米国 SunExpress™, Inc. のインターネットホームページ <http://www.sun.com/sunexpress> にあるカタログセクションを参照してください。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、およびディレクトリ名を示します。または、画面上のコンピュータ出力を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を画面上に表示される変換結果と区別して示します。	nn と入力すると、「ん」に変換されます。
<あいうえお> または AaBbCc123	変数を示します。実際には使用する場合には特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <ファイル名> と入力します。 または ファイルを削除するには、rm filename と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	詳細については『ユーザーズガイド』を参照。
「 」	本文中、画面に表示される内容などを引用するときに使います。または、参照する章、節を示します。	変換結果は、「私は」となります。詳細については、第3章「入力方法」を参照してください。
◆	手順の1ステップを示します。	◆適用ボタンをクリックします。
→	階層メニューのサブメニューを選択することを示します。	作成: 「返信」 → 「送信者へ」

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例はボックスで囲んで示します。たとえば、次のように表示されます。

- C シェルプロンプト

```
system%
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system#
```

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: 「Shift」キーを押す)。ただし、キーボードによっては「Enter」キーが「Return」キーの動作をします。

ダッシュ (-) は2つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、「Ctrl-D」は「Control」キーを押したまま「D」キーを押すことを意味します。

かな漢字変換辞書

1.1 辞書の構成

Wnn6 の辞書は「自立語」向けの辞書と、「付属語」向けの辞書から構成されています。「自立語」向けの辞書には、主に単語の読み、単語、品詞が収められています。「付属語」向けの辞書には、付属語の種類、自立語との接続情報、付属語間での接続情報が収められています。

「自立語」向けの辞書には、Wnn6 が管理する「システム辞書」と、ユーザーが管理する「ユーザー辞書」があります。「ユーザー辞書」は、ユーザーごとに持ち、単語の登録や削除ができます。

「自立語」向けの辞書はそれぞれの学習に使用する頻度情報ファイルをユーザーごとに持てます。ただし、初期設定ではユーザー辞書は使用頻度情報をユーザー辞書自身の内部に保持します。

辞書の構成を図 1-1 に示します。

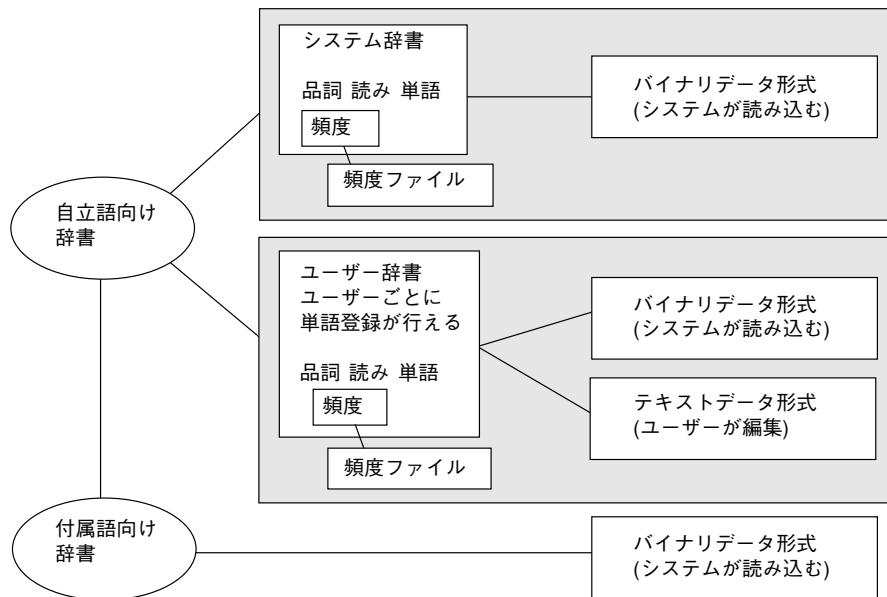


図 1-1 辞書構成図

Wnn6 の辞書ファイルの構成を図 1-2 に示します。

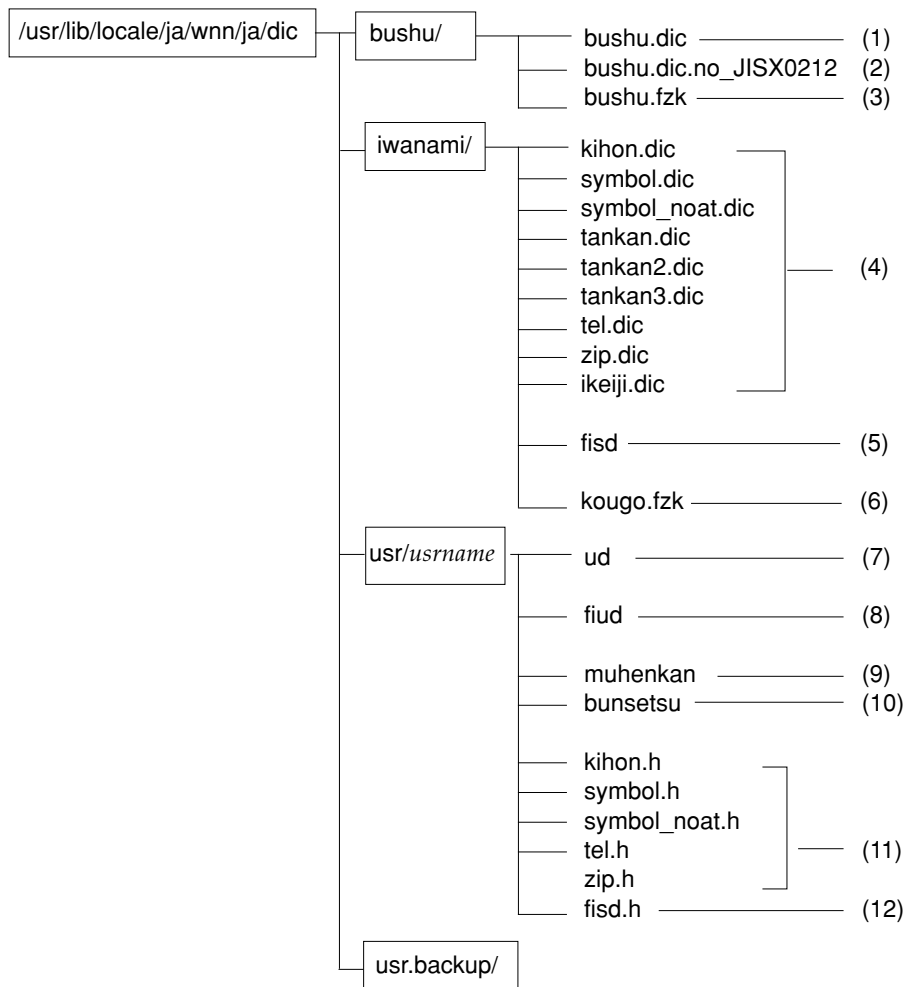


図 1-2 Wnn6 の辞書ファイル構成

1. 部首入力用辞書ファイル

部首入力用辞書ファイルの内容を表 1-1 に示します。

表 1-1 部首入力用辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
bushu.dic	補助漢字を含んだ部首情報の辞書

表 1-1 部首入力用辞書ファイル一覧 続く

2. 部首入力用辞書ファイル (補助漢字を使わない)

部首入力用辞書ファイル (補助漢字を含まない) の内容を表 1-2 に示します。

表 1-2 部首入力用辞書ファイル (補助漢字なし) 一覧

ファイル名	内容
bushu.dic.no_JISX0212	補助漢字を含まない部首情報の辞書

3. 部首入力用付属語情報ファイル

部首入力用付属語情報ファイルの内容を表 1-3 に示します。

表 1-3 部首入力用付属語情報ファイル一覧

ファイル名	内容
bushu.fzk	部首入力用

4. システム辞書ファイル

システム辞書ファイルの内容を表 1-4 に示します。

表 1-4 システム辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
kihon.dic	基本辞書
symbol.dic	記号辞書
symbol_noat.dic	記号辞書 (@ 入力なし)
tankan.dic	単漢字辞書 (JIS X 0208 第 1 水準)
tankan2.dic	単漢字辞書 (JIS X 0208 第 2 水準)

表 1-4 システム辞書ファイル一覧 続く

ファイル名	内容
tankan3.dic	単漢字辞書 (JIS X 0212 補助漢字)
tel.dic	電話番号辞書 (市外局番を住所に変換する)
zip.dic	郵便番号辞書 (郵便番号を住所に変換する)
ikeiji.dic	異形字辞書 (新字体 \leftrightarrow 旧字体、略字体 \leftrightarrow 正字体)

5. FI 関係システム辞書ファイル

FI 関係システム辞書ファイルの内容を表 1-5 に示します

表 1-5 FI 関係システム辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
fisd	FI 関係基本辞書

6. 付属語情報ファイル

付属語情報ファイルの内容を表 1-6 に示します。

表 1-6 付属語情報ファイル一覧

ファイル名	内容
kougo.fzk	文語 & 口語用

7. ユーザー辞書ファイル

ユーザー辞書ファイルの内容を表 1-7 に示します。

表 1-7 ユーザ辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
ud	ユーザー辞書

8. FI 関係ユーザー辞書ファイル

FI 関係ユーザー辞書ファイルの内容を表 1-8 に示します。

表 1-8 FI 関係ユーザー辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
fiud	FI 関係ユーザー辞書

9. 無変換学習辞書ファイル

無変換学習辞書ファイルの内容を表 1-9 に示します。

表 1-9 無変換学習辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
muhenkan	無変換学習用

10. 文節学習辞書ファイル

文節学習辞書ファイルの内容を表 1-10 に示します。

表 1-10 文節学習辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
bunsetsu	文節切り学習用

11. ユーザー頻度情報ファイル

ユーザー頻度情報ファイルの内容を表 1-11 に示します。

表 1-11 ユーザー頻度情報ファイル一覧

ファイル名	内容
kihon.h	基本辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
symbol.h	記号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
symbol_noat.h	記号辞書 (@ 入力なし) 内の単語に対するユーザー頻度情報
tel.h	電話番号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
zip.h	郵便番号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報

12. FI 関係ユーザー頻度情報ファイル

FI 関係ユーザー頻度情報ファイルの内容を表 1-12 に示します。

表 1-12 FI 関係ユーザー頻度情報ファイル一覧

ファイル名	内容
fisd.h	FI 関係基本辞書内の単語に対するユーザー頻度情報

1.2 品詞

1.2.1 品詞の種類

単語登録を行う時には、品詞を指定します。指定できる品詞を表 1-13 に示します。

表 1-13 単語登録時に指定できる品詞の一覧

大項目	種類
普通名詞	名詞 / サ行 (する) & 名詞 / 一段 & 名詞 / ら抜き一段 & 名詞 / 形容動詞 & 名詞 / 数詞 / 数詞 & 名詞 / ザ行 (ずる) & 名詞 / 形動 & する & 名詞 / 形容動詞 (たる) & 名詞 / 副詞 & 名詞 / 副詞 & する & 名詞 / 助数詞 & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞 / 接頭助数詞 & 名詞 / 名詞 (御なし)
固有名詞	人名 / 地名 / 人名 & 地名 / 固有名詞 / 姓 / 名 / 企業 / 姓 & 地名 / 名 & 地名 / 地名 & 人名
動詞	一段 / 一段 & 名詞 / ら抜き一段 / ら抜き一段 & 名詞 / カ行五段 / ガ行五段 / サ行五段 / タ行五段 / ナ行五段 / ハ行五段 / バ行五段 / マ行五段 / ラ行五段 / ワ行五段 / サ行 (する) / サ行 (する) & 名詞 / ザ行 (ずる) / ザ行 (ずる) & 名詞 形動 & する & 名詞 / 副詞 & する / 副詞 & と & する / 副詞 & する & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞
特殊な動詞	カ行 (行く) / ラ行 (下さい) / 来 (こ) / 来 (き) / 来 (く) / 為 (し) / 為 (す) / 為 (せ)
動詞以外の用言	形容詞 / 形容動詞 / 形容動詞 & 名詞 / 形容動詞 (たる) / 形容詞 (いい) / 形容詞連用形う / 形動 & する & 名詞 / 形容動詞 & 副詞 / 形容動詞 (たる) & 名詞 / 形容動詞 (たる) & 副詞
その他の独立語	副詞 / 連体詞 / 接続詞 / 感動詞 / 形容動詞 (たる) & 副詞副詞 & 名詞 / 副詞 & する / 副詞 & と & する / 副詞 & する & 名詞
接頭語 / 接尾語	接頭語 / 接尾語 / 接尾人名 / 接頭地名 / 接尾地名 / 接頭数詞 / 助数詞 / 接頭助数詞 / 接尾助数詞 / 形容動詞化接尾語 / サ行 (する) & 名詞化接尾語 / 接尾動詞 / 形容詞化接尾動詞 / 接頭語 (お) / 接頭語 (各) / 接頭人名 / 助数詞 & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞 / 助数詞 & 接尾助数詞 / 接頭助数詞 & 名詞 / 接尾姓 / 接尾名 / 動作接尾語
単漢字	単漢字
疑似品詞	数字 / カナ / 英数 / 記号 / 閉括弧 / 開括弧 / 付属語
その他の特殊品詞	特殊助数詞 / 特殊数詞 / 数助数詞 / 特殊接頭数詞 / 特殊単独語 / 郵便番号 / 電話番号 / 連濁 / 異形字

表 1-13 単語登録時に指定できる品詞の一覧 続く

大項目	種類
特殊助数詞	助数詞 (音読) / 助数詞 (音読) & する & 名詞 / 助数詞 (音読) & 接尾助数詞 / 助数詞 (音読) & 名詞 / 助数詞 (共通) / 助数詞 (共通) & 名詞 / 助数詞 (数字) / 助数詞 (数字) & する & 名詞 / 助数詞 (数字) & する & 名詞 (御なし) / 助数詞 (数字) & 名詞 助数詞 (数字) & 名詞 (御なし)
特殊数詞	数詞 (一) / 数詞 (訓読) / 数詞 A / 数詞 A & 名詞 / 数詞 A (一般) / 数詞 A (証書) / 数詞 B / 数詞 B & 名詞 / 数詞 B (一般) / 数詞 B (一般) & 名詞 / 数詞 B (証書) / 数詞 B (証書) & 名詞 / 数詞 C / 数詞 C & 名詞 / 数詞 C (一般) / 数詞 C (証書)
数助数詞	数助数詞 A (一般) / 数助数詞 B / 数助数詞 C / 数助数詞 C & 助数詞 (数字) & 名詞 / 数助数詞 C & 助数詞 (数字) & 名詞 (御なし)
特殊接頭数詞	接頭数詞 A / 接頭数詞 A (数字) / 接頭数詞 B / 接頭数詞 B (一般) / 接頭数詞 B (証書)
特殊単独語	単独語 / 単独接頭語 / 単独接尾語

1.2.2品詞管理ファイル

品詞に関する情報を管理します。

ファイル：

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/hinsi.data
```

このファイルに定義されている順番に、品詞、複合品詞に番号が割り当てられます。

割り当てられた番号は、

- 辞書、品詞ファイルの作成時
- サーバーでの品詞名参照時
- 複合品詞の構成 (複合品詞は品詞の集合) 参照時

に使用されます。

注 - 品詞に関する情報はすべての辞書と付属語ファイルの間で共通なので、品詞の削除またはファイル中での並び替えはできません。削除や並び替えを行うと、変更前の品詞管理ファイルを使用して作成された辞書および付属語の品詞情報 (番号) が不適正なものとなります。

新しい品詞および複合品詞を追加することができます。

書式は次のとおりです。

複合品詞 / 品詞 : 品詞: ... :品詞

複合品詞の定義で使用される品詞は、それより先に品詞として定義されていなければなりません。また、品詞名、複合品詞名は重複して使用することはできません。

以下に例を示します。

```

;;;
;;; 品詞は、階層的に分類されています。
;;; ルートのノードは、「/」という名前を持っています。
;;; リーフが本当の品詞になっています。
;;; ノードは、
;;; ノード名|品詞1:品詞2:...
;;; と書かれます。
...
/|普通名詞/:固有名詞/:動詞/:特殊な動詞/:動詞以外の用言/
:その他の独立語/:接頭語,接尾語/:単漢字:疑似品詞/その他の特殊品詞
普通名詞/|名詞:サ行(する)&名詞:一段&名詞:形容動詞&名詞:数詞 ...
固有名詞/|人名:地名:人名&地名:固有名詞 ...

動詞/|一段 :一段&名詞
:カ行五段:ガ行五段:サ行五段:タ行五段:ナ行五段
...
;
; 疑似品詞
;
先頭 ;文節先頭
数字 ;0123...
カナ ;カタカナ
英数 ;ABCD...
記号 ;!"#$%...
閉括弧 ;)} } など
付属語 ;付属語
開括弧 ;({ など
疑似 ;その他の疑似文節
@
; ここまでの 10 個の品詞の語は、辞書に存在しなくても jserver が
; 理解しています。
...

```

「@」だけの行は領域を確保することを意味します。品詞の定義に置き換えることもできます。

「;」以降はコメントとなります。

1.3 頻度情報ファイル

頻度情報ファイルは、辞書内の単語の使用頻度を各ユーザーごとに管理します。

ファイル:

```
/var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/username/*.h
```

`username` には、各ユーザーのアカウント名が入ります。

頻度情報ファイルは、ユーザー頻度情報ファイルと FI 関係ユーザー頻度情報ファイルから構成されています。

- ユーザー頻度情報ファイルは、システム辞書内の単語に対するユーザーごとの使用頻度を管理します。
- FI 関係ユーザー頻度情報ファイルは、FI 関係システム辞書内の単語に対して管理を行います。

頻度情報は、頻度情報ファイルの他に辞書本体の内部にも用意されています。頻度情報ファイルを新しく作成した場合には、すべての項目の頻度値が 0 に初期化されます。以後、頻度値の更新には、辞書本体内にある頻度値と頻度情報ファイルの頻度値を加算したものが適用されていきます。

かな漢字変換に使用する辞書を指定するとき、頻度情報ファイルも指定できます。頻度情報ファイルを指定しない場合は、辞書本体内の頻度値が使用されます。

頻度値を「-1」に設定すると、その辞書エントリを一時的に変換候補から外すことができます。これにより、複数のユーザーで共有して使用している辞書でも、1 ユーザーから不要であると思われる単語を、意図的に変換候補の対象から外すことができます。頻度ファイルを指定している場合は、頻度ファイル内にある頻度値、または辞書本体内の頻度値のいずれかを「-1」に設定します。頻度ファイルを指定していない場合には、辞書本体内の頻度値を「-1」に設定します。この処理は単語を実際に削除するわけではありません。あくまで一時的な処理ですから、辞書を柔軟に使用することができます。

注 - テキスト形式辞書では、一時的に削除されたエントリの頻度を「-」で表します。

1.4 付属語情報ファイル

付属語情報ファイルは、`jservice` の起動時に読み込まれます。

付属語の種類、自立語と付属語の接続方法、付属語同士の接続方法が収められています。

ファイル：

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/iwanami/kougo.fzk
```

1.5 テキスト形式辞書

テキスト形式辞書は日本語 EUC コードで記述され、テキストエディタで編集することができます。テキスト形式辞書はバイナリデータ形式辞書と相互に変換することができます。

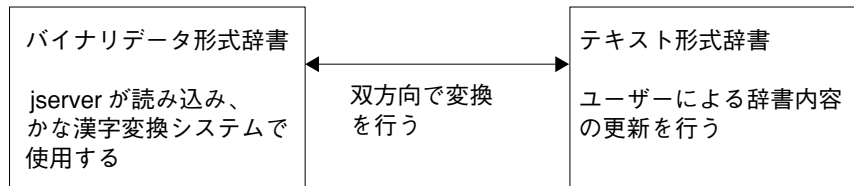


図 1-3 辞書構成

テキスト形式の辞書ファイル名の拡張子は「.u」、バイナリデータ形式の辞書ファイル名の拡張子は「.dic」です。

テキスト形式辞書は次の書式で作成します。

```
読み 単語 品詞 頻度 コメント ← 個々の単語について記述します。  
読み 単語 品詞 頻度 コメント  
読み 単語 品詞 頻度 コメント  
読み 単語 品詞 頻度 コメント  
読み 単語 品詞 頻度 コメント  
.  
.  
.  
.  
.
```

「読み」、「単語」、「品詞」、「頻度」、「コメント」は「空白文字」または「タブ文字」で区切ります。

表 1-14 テキスト形式辞書の書式

No	項目	
1	読み	単語の読み。 252 文字までの長さで、ユーザー辞書はひらがな / 「ー」 / 半角英数字で、システム辞書はひらがな / 「ー」で逆順に表現する。 半角英数字は大文字 / 小文字の区別は行わない。ソート時の文字の昇順は「ー」 / ひらがな / 半角英数字の順になる ¹
2	単語	252 文字までの半角文字、全角文字、ユーザー定義文字などすべての文字表現が可能。 スペース、改行などの制御文字は「0」に続く 2 桁の 8 進数で表す。 「\」に「0」以外の文字を続けるとその文字を指す（「\\」は文字「\」を指す）
3	品詞	品詞名を入力する
4	頻度	各単語ごとの頻度値
5	コメント	各単語ごとに付けられるコメント。250 文字まで

1. 「読み」「単語」「コメント」はそれぞれあわせて 252 文字です。

ユーザーが新規にユーザー辞書ファイルを作成した場合は、その辞書を Wnn6 が参照するように環境設定ファイル wnnenvrc に記述する必要があります。

"address.dic" を新しく作成した場合、次のように wnnenvrc に記述します。

```

.
setdic usr/@USR/address.dic - 5 0 0 - - 0
. ↑
. ↑
新規に追加する辞書ファイルの
パス名を設定

                                ↑
                                頻度情報
                                この場合、辞書ファイル内の頻度値を参照

```


1.6 辞書ユーティリティ (コマンド行)

1.6.1 テキスト形式辞書をバイナリデータ形式辞書へ変換する

以下に例を示します。

```
sun% wnnatod /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userA.dic < userA.u
```

上記の例では、カレントディレクトリ下の userA.u というテキスト形式辞書を、userA.dic (バイナリデータ形式辞書) に変換します。

1.6.2 バイナリデータ形式辞書をテキスト形式辞書へ変換する

以下に例を示します。

```
sun% wnndtoa /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userB.dic > userB.u
```

上記の例では、/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userB.dic というバイナリデータ形式辞書を、カレントディレクトリ下の userB.u というテキスト形式辞書に変換します。

1.6.3 辞書のヘッダー書き換え

バイナリデータ形式辞書と付属語情報のヘッダー部分を書き換えて、辞書の inode と合わせます。

実行形式は次のとおりです。

```
sun% /usr/bin/wntouch <バイナリデータ> ...
```

表 1-15 データの種類と保存形式

バイナリデータ	データ形式辞書 (*.dic) / 付属語情報 (*.fzk)
---------	---------------------------------

データ形式辞書または付属語情報ファイルは、複数指定することができます。

かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーの管理

2.1 かな漢字変換サーバー

かな漢字変換サーバー jserver は、複数のユーザーによるかな漢字変換機能を可能にします。

かな漢字変換サーバーの構成を図 2-1 に示します。

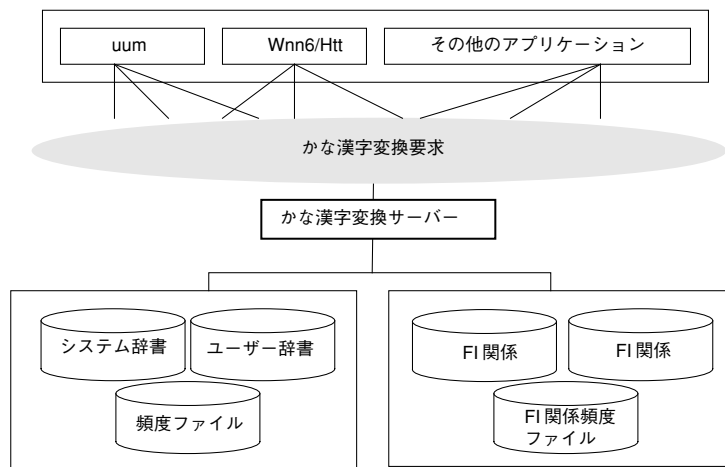


図 2-1 かな漢字変換サーバー

jserver は、システムの起動時に /etc/rc2.d/S94Wnn6 によって起動されます。

2.2 辞書引きサーバー

辞書引きサーバーは、かな漢字変換における辞書引き処理を行います。

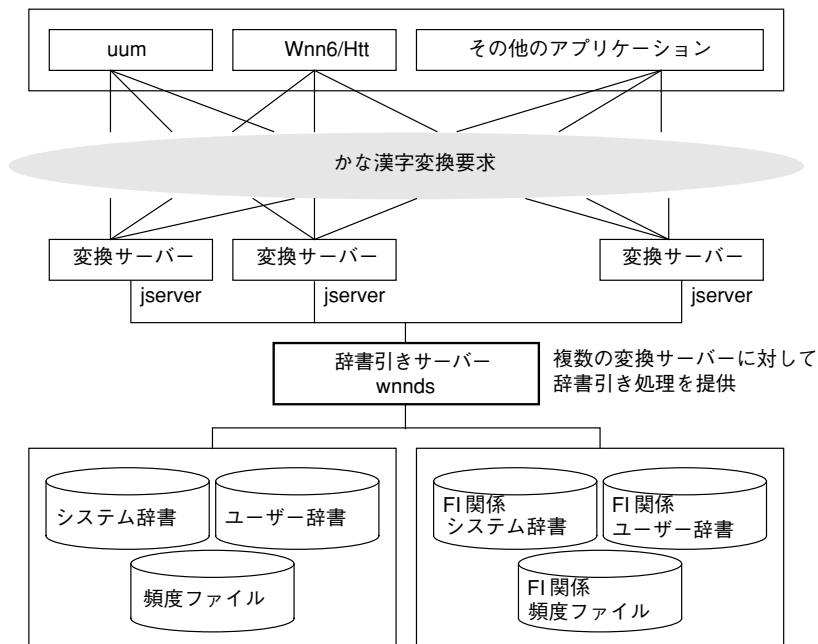


図 2-2 辞書引きサーバー

辞書引きサーバー `wnnds` は、辞書ファイルと全ユーザーの頻度ファイルを一括管理します。複数の変換サーバーから問い合わせのあった文字列の辞書引き結果を、それぞれの変換サーバーへ返します。

`wnnds` は、標準の設定では起動されません。必要に応じて `/etc/rc2.d/S94Wnn6` を編集するか、`/etc/lib/locale/ja/jserverrc` を編集し、`jserver` が同一システム上の `wnnds` に接続するように設定してください。なお、`jserverrc` は `Wnn6` 設定ユーティリティ `wnnenvutil` の「かな漢字変換サーバー基本設定」で編集できます。

2.3 アクセス制御

かな漢字変換サーバー (jserver) を利用できるユーザー、および辞書引きサーバー (wnnds) に接続できるかな漢字変換サーバーを指定できます。初期設定では、かな漢字変換サーバーは同一のホスト上のユーザーが利用でき、辞書引きサーバーは同一ホスト上のかな漢字変換サーバーが接続できます。

2.3.1 永続的なアクセス制御の設定

かな漢字変換サーバー jserver と辞書引きサーバー wnnds に対するアクセス制御は、`/etc/lib/locale/ja/wnn/wnnhosts` で設定します。これはテキストファイルで、`wnnenvutil(1)` またはテキストエディタ等で設定できます。

アクセス許可ファイルの記述例を次に示します。

```
jserver ja hostA {
;hostC:usr1,usr2,usr3
hostA:usr1,usr4
hostB
hostC:usr5
@usrA
;@usrB
}

wnnds ja hostA {
hostA
hostD
}

jserver ja hostA/22273 {
hostB
hostE
@usrA
}

wnnds ja hostA/22385 {
hostA
hostD
}
```

2.3.2 一時的なアクセス制御の設定

`wnnaccess` コマンドを使用して、かな漢字変換サーバー jserver と辞書引きサーバー wnnds に対する一時的なアクセス制御を設定できます。システムをリブートした

り、かな漢字変換サーバーや辞書引きサーバーを起動し直した場合は、この設定は失われます。

■ アクセス不可能にする場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess - hostA:usr1,usr2,usr3,usr4
```

上記のように実行した場合、hostA からアクセス可能であった *usr1 usr2 usr3 usr4* がアクセス不可能となります。

■ アクセス可能にする場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess + @usr5
```

上記のように実行した場合、ユーザー *usr5* はすべてのホストからアクセスが可能になります。

2.3.3 アクセス制御情報の取得

wnnaccess コマンドを使用して、かな漢字変換サーバー *jserver* と辞書引きサーバー *wndds* に対するアクセス許可情報を取得できます。

■ 現在のアクセス許可状態を表示する場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess
Server access control enabled,
only users on authorized hosts can connect.
hostname
hostname:
hostname: username1, username2, ...
@username
```

先頭行は、アクセス制御の ON/OFF の状態を示し、次行以下は、アクセス許可が与えられているホストとユーザー名を示します。表示形式、意味を表 2-1 に示します。

表 2-1 アクセスコントロールの情報

名称	内容
<i>hostname</i>	ホスト <i>hostname</i> のすべてのユーザーからアクセス可能
<i>hostname:</i>	ホスト <i>hostname</i> のすべてのユーザーからアクセス不可能
<i>hostname:</i> <i>username1,</i> <i>username2, ...</i>	ホスト <i>hostname</i> のユーザー <i>username1</i> 、 <i>username2</i> ... からアクセス可能
@ <i>username</i>	ユーザー <i>username</i> は、すべてのホストからアクセス可能

2.4 かな漢字変換サーバーの基本設定 (jserverrc)

かな漢字変換サーバー *jserver* が起動時に読み込む辞書やかな漢字変換のパラメタなどを設定します。

2.4.1 起動時にあらかじめ辞書を読み込む

かな漢字変換サーバー *jserver* の起動時に、あらかじめ辞書を読み込んでおくことができます。

標準の設定では、かな漢字変換サーバーが起動した時、かな漢字変換で使用されるシステム辞書は読み込まれません。必要な辞書は、日本語入力を行うクライアントプログラムが起動された時点で読み込まれます。通常、ログイン時にこの読み込みが行われますので、Wnn6 を使用するユーザーのログインには多少時間がかかることとなります。

- 次の例のように、`/etc/lib/locale/ja/wnn/ja/jserverrc` を編集し、`readfile` の行の先頭の「;」の文字を削除します。


```
sun# wnnstat
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーが表示されます。かな漢字変換サーバーが停止されることをメールで知らせることもできます。

3. Wnn6 stop コマンドを入力します。

```
sun# sh /etc/init.d/Wnn6 stop
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいても、サーバープロセスは停止します。

2.5.2 かな漢字変換サーバーを停止する方法 (2)

かな漢字変換サーバーだけを停止するには、次のようにします。

1. スーパーユーザーになります。
2. かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいるか調べます。

```
sun# wnnstat
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーが表示されます。かな漢字変換サーバーが停止されることをメールなどで知らせることもできます。

3. wnnkill コマンドを入力します。

```
sun# wnnkill
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいても、かな漢字変換サーバーは停止します。辞書引きサーバーとライセンスサーバーは停止しません。

2.6 かな漢字変換サーバーの起動

かな漢字変換サーバーやライセンスサーバーは、システムの起動時に /etc/rc2.d/S94Wnn6 によって起動されます。辞書引きサーバーを使用するように設定されている場合は、辞書引きサーバーも同時に起動されます。

2.6.1 かな漢字変換サーバーを起動する方法

かな漢字変換サーバー、辞書引きサーバー (使用する場合) およびライセンスサーバーを起動するには、次のようにします。

1. スーパーユーザーになります。
2. Wnn6 start コマンドを入力します。

```
sun# sh /etc/init.d/Wnn6 start
```

すでに起動されているサーバーが二重に起動されることはありません。

オフライン学習の管理

3.1 オフライン学習の概要

オフライン学習機能は次の処理を行います。

- ユーザー辞書、頻度ファイル、FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイルに対する変換効率向上のための頻度の再配置
- ディスク、メモリー資源の削減 (不要な単語の削除)
- 登録語自動反映

3.2 オフライン学習の機能と動作

3.2.1 かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーのロック

オフライン学習の対象となる辞書、頻度ファイルを読み込む可能性のあるかな漢字変換サーバーと辞書引サーバーをロックします。

ロックされると、かな漢字変換サーバーと辞書引サーバーの機能は以下のように制御されます。

- ロックにより動作しなくなる機能

- 頻度学習
 - FI 学習
 - 自動学習 (無変換 / 文節切り)
 - 単語登録 / 単語削除
 - 辞書 / 頻度ファイルの読み込み
 - ユーザー辞書 / ユーザー頻度ファイルの削除
 - ユーザー学習用ディレクトリ作成
 - 辞書ファイル / 頻度ファイルの作成
 - コメントの設定 (ファイル / 単語)
 - ファイルのパスワード設定
 - 辞書への品詞テーブル設定
-
- ロック後も動作する機能
 - 変換処理
 - 単語検索
 - クライアントの終了処理

オフライン学習の終了時には、上記の制御を終了します。

3.2.2 登録語自動反映

登録語自動反映モジュールを起動し、すべてのユーザー辞書を調査して、複数のユーザーで登録されている単語を、マージ辞書に登録します。

マージ辞書に登録された単語はユーザー辞書から削除されます。この削除によって FI 関係ユーザー辞書が影響を受ける場合は FI 関係ユーザー辞書も更新されます。

注 - 登録語自動反映モジュールは、必ずオフライン学習機能から (自動的に) 起動するようにしてください。単独では起動させないでください。

注 - 登録語自動反映モジュールは、ユーザー辞書に直接アクセスします。登録語自動反映の機能を使用する場合は、オフライン学習の処理全体をユーザー辞書の存在するシステム上で行わなければなりません。

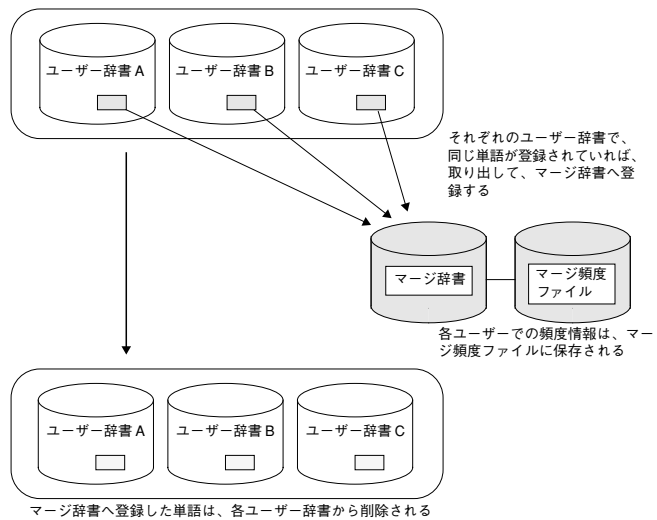
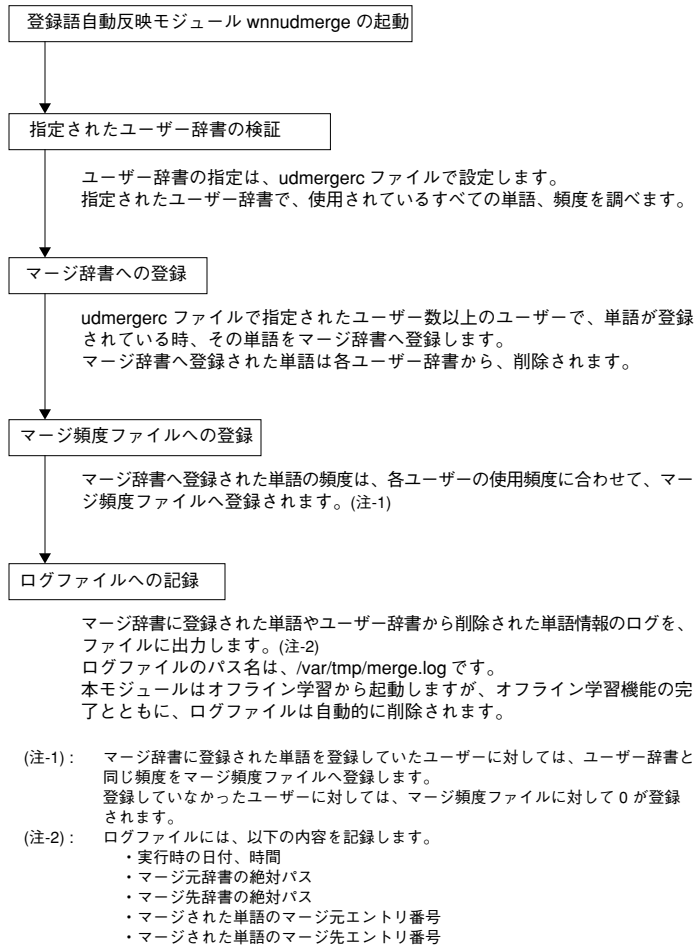


図 3-1 登録語自動反映機能のイメージ

3.2.2.1 機能説明

登録語自動反映機能について、その処理の流れに沿って解説します。




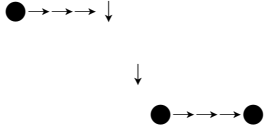
3.2.3 学習処理

オフライン学習では、ユーザー辞書、頻度ファイル、FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイルに対して、変換効率の向上、頻度の飽和防止、ディスク・メモリー容量の削減のための学習処理を行います。

3.2.3.1 頻度下げ

同一単語の過去 2 回の頻度をもとに、表 3-1 に示すパターンに従って頻度を下げます。

表 3-1 頻度下げパターン

パターン	処理
前々回、前回、今回の頻度がすべて同じ 前々回 前回 今回 	頻度を下げる
前回の処理で頻度下げが発生 前々回 前回 今回 	頻度を下げる
上記以外のすべてのパターン	頻度はそのまま

3.2.3.2 単語削除

頻度が 0 になった単語を、辞書から削除します。

辞書の種類により、次のように対応が異なります。

- ユーザー辞書、頻度ファイル

同一単語の、前々回→前回→今回 (現在から 2 回前まで) の頻度がすべて 0 の場合に、単語を削除します。

- FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイル

接続頻度が 0 の場合に、単語に対する FI 関係データを削除します。

3.2.4 保存ディレクトリの対応ファイル作成 (Entries)

Entries ファイルとは、オフライン学習における、環境とその保存ディレクトリの対応関係を定義するもので、システムから自動的に出力されます。

ファイル :

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/offline/Entries
```

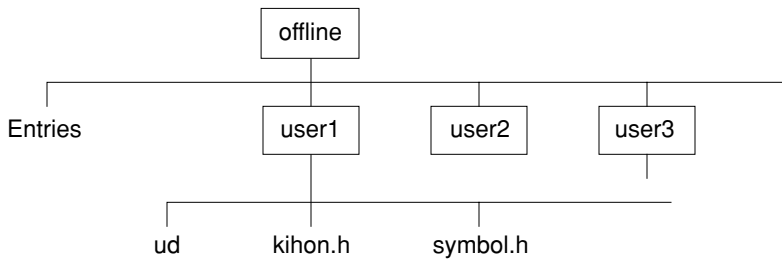


図 3-2 オフライン学習における、環境保存のためのディレクトリ構成

Entries ファイルは次のような書式で出力されます。

```
target_directory save_directory
target_directory save_directory
```

表 3-2 Entries ファイル出力書式の内容

<i>target_directory</i>	対象となる環境のディレクトリ名を絶対パス名で出力
<i>save_directory</i>	保存ファイルのあるディレクトリ名を出力 上図の offline ディレクトリからの相対パス名で出力

次に、Entries ファイルの出力例を示します。

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/user1 user1
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/user2 user2
```

通常、*save_directory* は *target_directory* のベース名と同じになります。

既に *save_directory* 名が存在する場合は、「-」に続いてシリアルナンバーが付加されます。

以下に `save_directory` にシリアルナンバーが付加された場合の出力例を示します。

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userA      userA
/home/userA                                  userA_1
/opt/Wnn6/userA                              userA_2
```

3.3 オフライン学習の設定

システム管理者は、オフライン学習の起動にあたってあらかじめ、`offlinerc` ファイル、`udmergerc` ファイルと `cron` の設定を行う必要があります。

3.3.1 offlinerc の設定

`offlinerc` は、オフライン学習の動作を規定するテキストファイルです。

オフライン学習を起動する時は、`offlinerc` ファイルを必ず設定しておきます。

ファイル：

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/offlinerc
```

書式は次のとおりです。

```
キーワード 設定値 (パス名 / 数字など)
キーワード 設定値 (パス名 / 数字など)
キーワード 設定値 (パス名 / 数字など)
```

キーワードと設定値の間には「空白文字」または「タブ文字」を入力して区切りま
す。

「;」で始まる行と「/*」と「*/」で囲まれた範囲は、コメントとして解釈されま
す。

同一のキーワードが複数設定された場合は、ファイル中で最後に記述されている指
定が有効になります。

注 - ただし、キーワード「target」を除きます。

表 3-3 に offlinerc のキーワード一覧を示します。

表 3-3 offlinerc のキーワード一覧

キーワード	設定内容
target	<p>オフライン学習を行う環境のディレクトリを指定する。 指定したディレクトリの下ディレクトリもすべて指定される。 target は複数回指定することができる。 本キーワードは省略不可</p> <hr/> <p>target <ディレクトリパス名 1> target <ディレクトリパス名 2> ・ ・</p>
jsrver_list	<p>jsrver が起動しているホスト名を指定する。 ここで指定された jsrver に対して、ファイルのセーブ、ロックのプロトコルを送る。 ホスト名を省略すると、jsrver のロックは行われない。 一度に複数個を指定する場合は、「,」で区切る。 下記のキーワード wnds_list での指定個数と合わせて、50 個のホストを指定することができる。 本キーワードは省略不可</p> <hr/> <p>jsrver_list <ホスト 1>, <ホスト 2>, <ホスト 3>, ...</p>

表 3-3 offlinerc のキーワード一覧 続く

wnnds_list	<p>wnnds が起動しているホスト名を指定する。</p> <p>ここで指定された wnnds に対して、ファイルのセーブ、ロックのプロトコルを送る。</p> <p>ホスト名を省略すると、wnnds のロックは行われない。</p> <p>一度に複数個を指定する場合は、「,」で区切る。</p> <p>上記のキーワード jserver_list での指定個数と合わせて、50 個のホストを指定することができる。</p> <p>本キーワードは省略不可</p>
	<p>wnnds_list <ホスト 1>, <ホスト 2>, <ホスト 3>, ...</p>
udmerge_command	<p>オフライン学習から起動する登録語自動反映モジュールのコマンドライン (オプションを含む)を指定する。</p> <p>省略時には /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnudmerge が使用される</p>
	<p>udmerge_command <コマンドライン></p>
delete_entry	<p>オフライン学習で、単語削除を行う/行わないを ON/OFF で指定する。</p> <p>省略時には、OFF が設定される</p>
	<p>delete_entry [ON/OFF]</p>
decrease_percent	<p>オフライン学習で、頻度を下げる場合の下げ率を % で指定する。0 ~ 100 の整数値で指定。省略時には、50 % に設定される</p>
	<p>decrease_percent <下げ率></p>
offline_dir	<p>オフライン学習における環境とその保存ディレクトリの対応関係を出力する、Entries ファイルのディレクトリパス名を指定する。</p> <p>省略時には /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnoffline が使用される</p>
	<p>offline_dir <ディレクトリパス名></p>

表 3-3 offlinerc のキーワード一覧 続く

update_count	<p>一つの環境の使用回数がここで指定される数値を超えた時に、ファイル保存および処理が行われる。</p> <p>0 ~ 4294967295 の整数値で指定する。</p> <p>省略時には 1000 が設定される</p>
	update_count <回数>

注・offlinerc ファイルの記述で、target、jserver_list、wnnds_list の各キーワードを省略することはできません。jserver_list、wnnds_list のキーワードは、引数であるホスト名を省略することができますが、target のキーワードについては、必ず引数にオフライン学習を行う環境のディレクトリを指定しなければなりません。

また、offlinerc のキーワード jserver_list と wnnds_list のホスト指定の記述形式を表 3-4 に示します。

表 3-4 jserver_list と wnnds_list のホスト指定

記述形式	説明
<i>host_name</i>	ホスト名 (または、IP アドレス) のみを指定。 標準ポート番号が適用される
<i>host_name:offset_number</i>	標準ポート番号に <i>offset_number</i> を加算したポート番号を使用
<i>host_name/port_number</i>	ポート番号として <i>port_number</i> を使用

次に、offlinerc ファイルの記述例を示します。

```

target                @LIBDIR/ja/dic/usr
jserver_list          hostA,hostA:3,133.210.2.10:1,hostB/22274
wnnds_list            hostC:3,hostB,133.210.2.46,hostB/22374
udmerge_command       /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnudmerge

;delete_entry         on
delete_entry          off

decrease_percent      30
offline_dir           @LIBDIR/offline
update_count          2000

```

target または offline_dir のキーワードでのみ、@LIBDIR の記述を使用して /usr/lib/locale/ja/wnn のパスに置き換えることができます。

オフライン学習の動作中に発生するエラー内容については、付録 C 「エラーメッセージ一覧」を参照してください。

3.3.2 udmergerc の設定

登録語自動反映機能の動作を規定するテキストファイルです。

登録語自動反映モジュールを起動するにあたって、udmergerc ファイルは、必ず設定しておく必要があります。

ファイル：

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/udmergerc
```

udmergerc は次のような書式で作成します。

```

キーワード 設定値 (パス名) ← udmergerc ファイルは
キーワード 設定値 (ファイル名) 必ずこの順序で記述します。
キーワード 設定値 (数字)
. .
. .

```

キーワードと設定値は「空白文字」または「タブ文字」で区切ります。

udmergerc ファイルで使用できるキーワードは、uddir、mergedic、usernum の 3 つです。一組の uddir-mergedic-usernum の設定で、1 ユーザーグループにおける辞書のマージ環境を指定することができます。

udmergercファイルで使用できるキーワードの解説を表 3-5に示します

表 3-5 udmergerc のキーワード一覧

キーワード	設定内容
uudir	マージ元辞書となるユーザー辞書を指定する。ユーザー辞書が存在するディレクトリパス名を入力する。複数のユーザー辞書を指定する場合は、「,」で区切る。すべてのユーザー辞書に対応する場合は、/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr を入力する
	uudir <ユーザー辞書が存在するディレクトリパス名>
mergedic	マージ先辞書名を指定。ファイル名を入力する
	mergedic <マージ先辞書ファイル名>
usernum	指定した数以上のユーザーが同一の単語を登録している場合にその単語をマージする。all を指定すると、上記のuudir で指定されたユーザーすべてで単語登録された場合に、マージが実行される
	usernum <ユーザー数> (/all)

注 - 登録語自動反映機能で処理できるユーザー辞書数は、1024 個までです。

次に例を示します。

注 - udmergerc ファイルでは @LIBDIR の記述はすべて /usr/lib/locale/ja/wnn/ に展開して処理されます。

1. 複数グループのマージ辞書を作成する場合には、**3**つのキーワードをまとめて複数個指定します。

```
uudir          @LIBDIR/ja/dic/usr/A,@LIBDIR/ja/dic/usr/B
mergedic       @LIBDIR/ja/udmerge/udmerge1.dic
usernum        2
uudir          @LIBDIR/ja/dic/usr/C,@LIBDIR/ja/dic/usr/D
mergedic       @LIBDIR/ja/dic/usr/E,@LIBDIR/ja/dic/usr/F
mergedic       @LIBDIR/ja/dic/udmerge/udmerge2.dic
usernum        4
```

2. 登録されているすべてのユーザーで、単語登録がされた場合に、辞書マージを行います。

```
uudir          @LIBDIR/ja/dic/usr
mergedic       @LIBDIR/ja/dic/udmerge/udmerge.dic
usernum        all
```

3.3.3cron の設定

ここでは、wnnoffline を定期的に行わせるための設定方法を記述します。

注 - wnnoffline の設定がすべて終わってから cron の設定を行ってください。

1. 以下の設定はスーパーユーザーで行ってください。

```
sun# crontab -e
```

2. エディタが起動しますので、そこで wnnoffline のエントリを追加します。

```
0 1 * * 0 /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnoffline
```

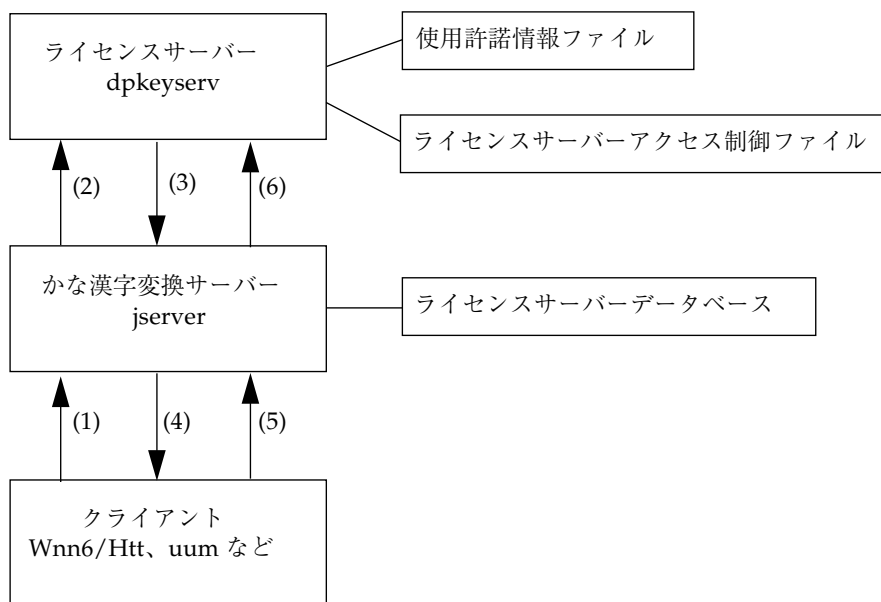
例：毎週日曜日の 1 時に wnnoffline が実行されるように設定する

3. crontab コマンドから起動されたエディタを終了します。

使用許諾 (ライセンス) の管理

Wnn6 のかな漢字変換サーバー (jserv) への接続は、ライセンスサーバー (dpkeyserv) によって制御されます。ライセンスサーバーは使用許諾情報を管理し、かな漢字変換サーバーからの要求に応じてライセンスを交付します。交付されたライセンスは、それを取得したかな漢字変換サーバーによって解放されるまで、再度交付されることはありません。

4.1 使用許諾の制御の流れ



(1)	かな漢字変換を行うプログラムが、かな漢字変換サーバーに接続を試みる
(2)	かな漢字変換サーバーは、ライセンスサーバーにライセンスを要求する。ライセンスサーバーデータベースが存在する場合は、そのファイルで指定されたライセンスサーバー(複数指定可)にライセンスを要求する。ライセンスサーバーデータベースが存在しない場合は、同一ホスト上のライセンスサーバーにライセンスを要求する
(3)	ライセンスサーバーは、ライセンスサーバーアクセス制御ファイルに記述されたホスト上のかな漢字変換サーバーからライセンスが要求された場合、使用許諾情報ファイルに設定された使用許諾情報を確認し、それを越えない範囲でライセンスを交付する。ライセンスサーバーアクセス制御ファイルに記述されていないホストのかな漢字変換サーバーからライセンスが要求された場合や、使用許諾情報ファイルに設定された使用許諾情報がすべて交付されている場合は、ライセンスを交付しない
(4)	ライセンスサーバーからライセンスを獲得できた場合、かな漢字変換サーバーはクライアントと接続し、かな漢字変換が可能になる。ライセンスが獲得できない場合は、クライアントにそれを通知し、かな漢字変換操作は行うことができない

(5)	かな漢字変換を行うプログラムが、かな漢字変換サーバーとの接続を終了する。通常は、かな漢字変換を行うプログラムの終了時にこの処理を行う
(6)	かな漢字変換サーバーは、クライアントとの接続が終了したことを受け、保有していたライセンスをライセンスサーバに返却する

4.2 ライセンスサーバーの起動

ライセンスサーバーは、システムの起動時に `/etc/rc2.d/S94Wnn6` によって起動されます。

- ◆ ライセンスサーバーを起動するには、スーパーユーザーで次のように実行します。

```
sun# /usr/lib/locale/ja/wnn/dpkeyserv
```

ただし、一つのシステムで同時に実行できる `dpkeyserv` は一つだけです。

4.3 ライセンスの交付状況の表示と回収

`dpkeystat` コマンドを使用して、ライセンスの交付状況の表示と、交付されているライセンスの強制的な回収を行います。

- ◆ ライセンスの交付状況を表示するには、スーパーユーザーで次のように実行します。

```
sun# /usr/lib/locale/ja/wnn/dpkeystat
```

4.4 使用許諾情報の管理に関するファイル

■ 使用許諾情報ファイル

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeylist
```

ライセンスサーバーは、このファイルに設定された使用許諾情報を管理します。

■ ライセンスサーバーアクセス制御ファイル

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeyallow
```

ライセンスサーバーは、このファイルで指定されたホスト上のかな漢字変換サーバーからのライセンスの要求を受け付けます。ホストは、一行に一つのホスト名で指定します。「#」で始まる行は、コメントとして無視されます。

■ ライセンスサーバーデータベース

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeyservlist
```

かな漢字変換サーバーは、このデータベースで指定されたライセンスサーバー (複数指定可) にライセンスを要求します。ライセンスサーバーデータベースが存在しない場合は、同一ホスト上のライセンスサーバーにライセンスを要求します。ホストは、一行に一つのホスト名で指定します。

Wnn6 設定ユーティリティ

本章では、Wnn6 設定ユーティリティで Wnn6 の設定を行う方法について説明します。

Wnn6 設定ユーティリティには、システム管理者による設定を行う「システム管理用」メニューと、ユーザーによる設定を行う「ユーザーカスタマイズ」メニューがあります。

A.1 Wnn6 設定ユーティリティの起動方法

- ◆ 実行形式は次のとおりです。

```
sun% /usr/openwin/bin/wnnenvutil
```

Wnn6 設定ユーティリティの各機能は、メニューから選択します。

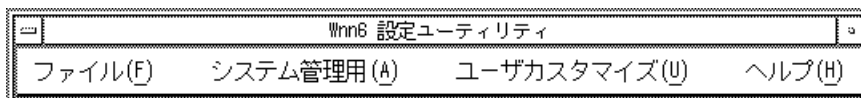


図 A-1 Wnn6 設定ユーティリティメニュー

A.2 システム管理用

「システム管理用」のメニューを利用する場合、root のアカウントで `wnnenvutil` を実行します。

「システム管理用」のメニューでは次の設定を行うことができます。

- かな漢字変換サーバー接続パラメタ
- かな漢字変換サーバー基本設定
- かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御
- 標準かな漢字変換インタフェース (システムのデフォルト)
- かな漢字変換用辞書 (システムのデフォルト)
- キーの割り当て (システムのデフォルト)
- 学習 / 変換 / 表示モード (システムのデフォルト)

A.2.1 システム管理

A.2.1.1 かな漢字変換サーバー接続パラメタ

かな漢字変換サーバーの接続環境を設定します。

Wnn6 設定ユーティリティのメニュー「システム管理用」から「かな漢字変換サーバー接続パラメタ」を選択します。

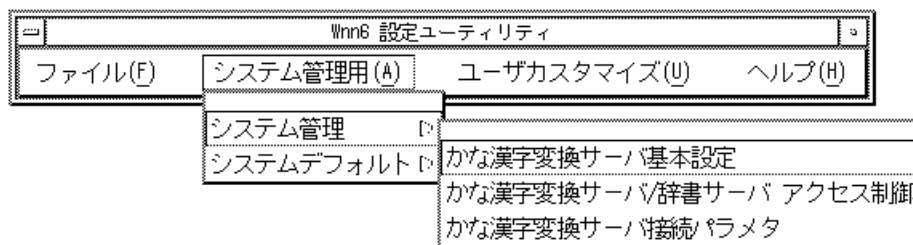


図 A-2 Wnn6 設定ユーティリティ「システム管理用」

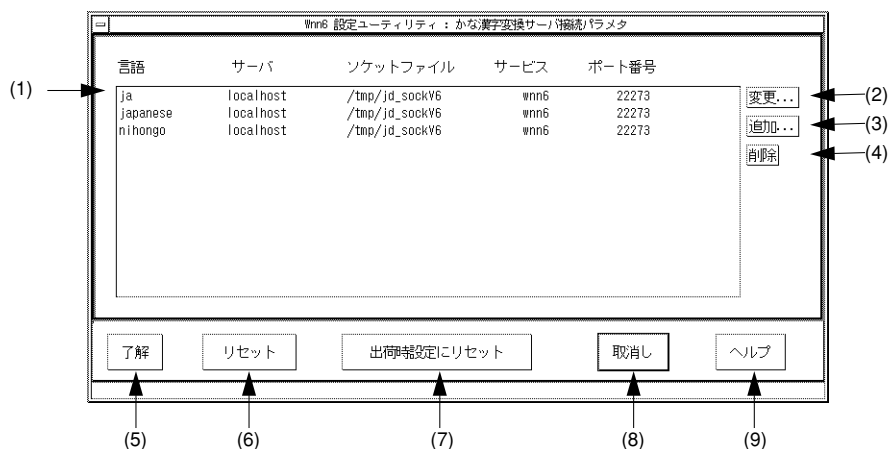


図 A-3 かな漢字変換サーバ接続パラメタ設定画面

(1) ~ (8) については表 A-1 を参照してください。

表 A-1 かな漢字変換サーバ接続パラメタ設定画面の説明

(1)	設定されているパラメタ
(2)	選択したサーバーの接続パラメタを変更する
(3)	サーバーを追加する
(4)	選択したサーバーを削除する
(5)	編集した内容でかな漢字変換サーバの接続パラメタを設定する
(6)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(7)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(8)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(9)	接続パラメタ設定操作のヘルプを表示する

「追加」ボタン、あるいは「変更」ボタンをクリックすると、サーバーのパラメタを追加または変更するウィンドウが開きます。

Wnn6 設定ユーティリティ : かな漢字変換サーバ接続パラメタの変更	
言語:	<input type="text" value="ja"/>
サーバ:	<input type="text" value="localhost"/>
ソケットファイル:	<input type="text" value="/tmp/jd_sockV6"/>
サービス:	<input type="text" value="wnn6"/>
ポート番号:	<input type="text" value="22273"/>
<input type="button" value="了解"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="取消し"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>	
[---]	

図 A-4 接続パラメタ変更画面

言語、サーバ、ソケットファイル、サービス、ポート番号を入力して「了解」ボタンをクリックすると、サーバが追加、変更されます。

「リセット」ボタンをクリックすると、このウィンドウを開いたときの状態に戻ります。

A.2.1.2 かな漢字変換サーバ基本設定

かな漢字変換サーバの基本設定を行います。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換サーバ基本設定」を選択します。

表 A-2 かな漢字変換サーバー基本設定画面の説明 続く

(7)	編集した内容で、かな漢字変換サーバーの設定を行う
(8)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(9)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(10)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(11)	操作のヘルプを表示する

A.2.1.3 かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御

アクセス許可するホスト、ユーザーを設定します。

Wnn6 設定ユーティリティのメニュー「システム管理用」から「かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御」を選択します。

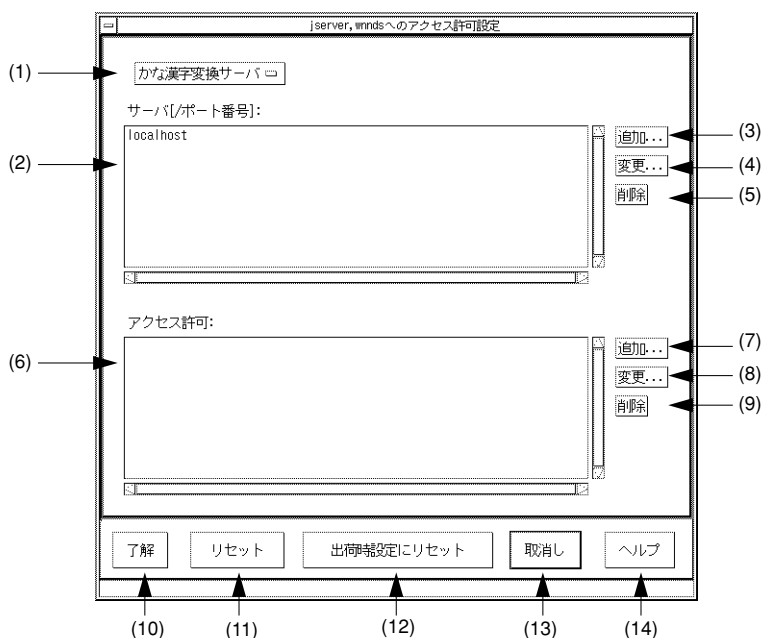


図 A-6 かな漢字変換サーバ / 辞書サーバアクセス制御設定画面

(1) ~ (14) については表 A-3 を参照してください。

表 A-3 かな漢字変換サーバ / 辞書サーバアクセス制御設定画面の説明

(1)	(かな漢字変換サーバ / 辞書サーバ) を切り替える
(2)	アクセス可能なホストを一覧表示する
(3)	アクセス可能なサーバを追加する
(4)	選択したサーバのホスト名、ポート番号を変更する
(5)	選択したサーバを削除する
(6)	アクセス許可されているユーザーを一覧表示する
(7)	アクセス許可するユーザーを追加する
(8)	アクセス許可するユーザーを変更する
(9)	選択したユーザーをアクセスから外す
(10)	編集した内容でアクセス制御を設定する
(11)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(12)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(13)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(14)	操作のヘルプを表示する

(3)、(4) のボタンをクリックすると、サーバを追加、変更するウィンドウが開きます。

図 A-7 サーバー追加

ホスト名とポート番号を入力して「了解」ボタンをクリックすると、アクセス可能なサーバーが追加、変更されます。

(7)、(8)のボタンをクリックすると、アクセス許可を追加、変更するウィンドウが開きます。

図 A-8 アクセス許可・追加

ホスト名とユーザー名を入力して「了解」ボタンをクリックすると、そのホスト上では指定されたユーザー以外アクセスできなくなります。

ホスト名を入力せず、ユーザー名だけ入力して「了解」ボタンをクリックすると、そのユーザーはすべてのホストからのアクセスが可能になります。

A.2.2 システムデフォルト

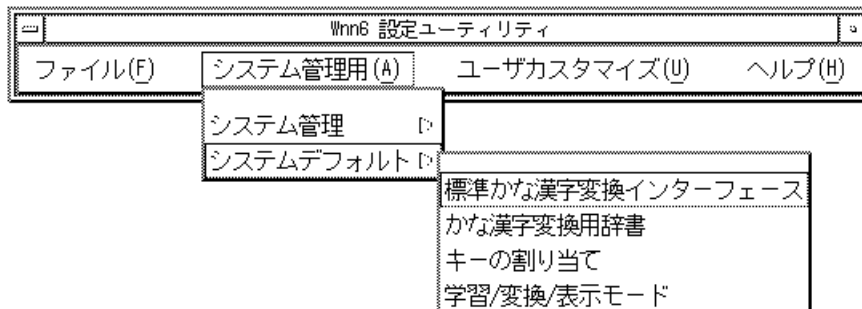


図 A-9 Wnn6 設定ユーティリティ 「システムデフォルト」

A.2.2.1 標準かな漢字変換インターフェース

かな漢字変換の標準インターフェースを使用するときの環境を設定します。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから、「標準かな漢字変換インターフェース」を選択します。

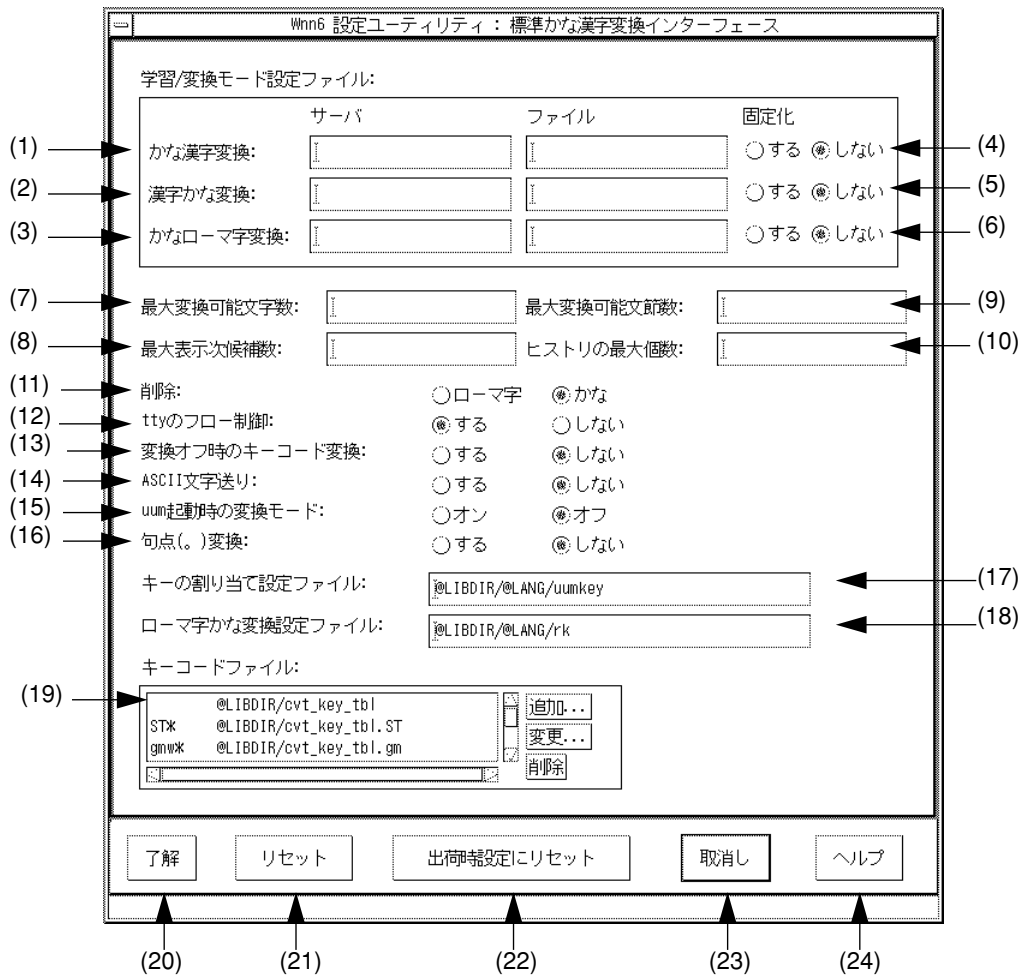


図 A-10 標準かな漢字変換インターフェース設定画面

(1) ~ (24) については表 A-4 を参照してください。

表 A-4 標準かな漢字変換インターフェース設定画面の説明

(1)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合は <code>wnnenvrc</code> が指定される
(2)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合は漢字かな変換ができない
(3)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合はかなローマ字変換ができない
(4)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(5)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(6)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(7)	最大変換可能文字数を指定する。初期設定は 100
(8)	次候補一覧の時の最大表示候補数を指定する。初期設定は 36
(9)	最大変換可能文節数を指定する。初期設定は 80
(10)	履歴を最大何個まで記憶するかを指定する。初期設定は 11
(11)	「ローマ字」にすると、確定した文字をローマ字に戻して削除する。「かな」にすると、確定した文字はそのまま削除される
(12)	「する」に設定すると <code>tty</code> のフロー制御を行う
(13)	「しない」に設定すると、変換オフの時キーコード変換しない
(14)	「しない」に設定すると、変換行が空の時バッファを取り込まない
(15)	「オフ」に設定すると、 <code>uum</code> を変換モードオフで立ち上げる
(16)	「しない」に設定すると、句点(。)変換を行わない
(17)	キーの割り当て設定ファイルを指定する
(18)	ローマ字かな変換設定ファイルを指定する
(19)	キーコードファイルを設定する
(20)	編集した内容で標準かな漢字変換インターフェースを設定する

表 A-4 標準かな漢字変換インターフェース設定画面の説明 続く

(21)	すべての設定をこのウィンドウを開いた時の状態に戻す
(22)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(23)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(24)	操作のヘルプを表示する

A.2.2.2 かな漢字変換用辞書

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換用辞書」を選択します。



図 A-11 かな漢字変換用辞書 設定画面

(1) ~ (11) については表 A-5 を参照してください。

表 A-5 かな漢字変換用辞書設定画面の説明

(1)	かな漢字変換用辞書を一覧表示する
(2)	かな漢字変換用辞書を追加する
(3)	選択したかな漢字変換用辞書を変更する
(4)	選択したかな漢字変換用辞書を削除する
(5)	付属語ファイルを指定する
(6)	辞書の作成条件を指定する。初期設定は「無条件に作る」
(7)	編集した内容でかな漢字変換用辞書を設定する
(8)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(9)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(10)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(11)	操作のヘルプを表示する

(2)、(3) のボタンをクリックすると、かな漢字変換用辞書ファイルを追加、変更するウィンドウが開きます。

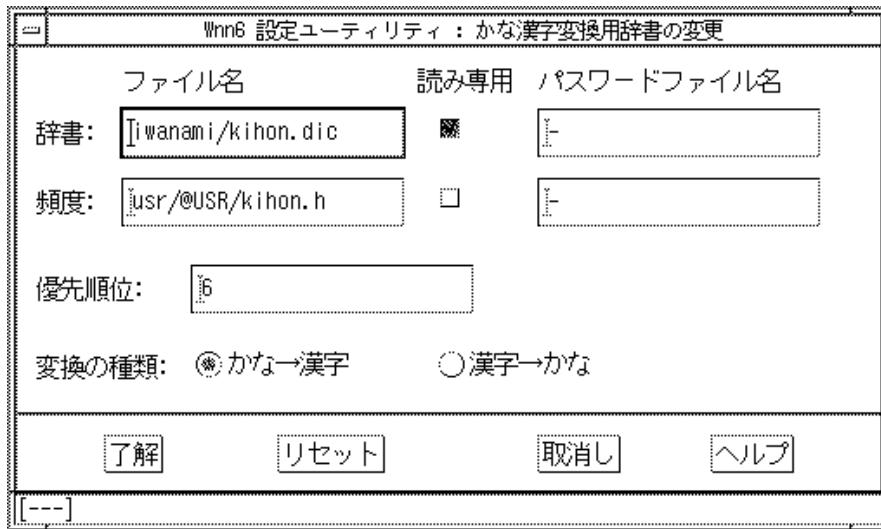


図 A-12 かな漢字変換用辞書編集ウィンドウ

辞書ファイル名、頻度ファイル名、パスワードファイル名、優先順位、変換の種類を指定し、「了解」ボタンをクリックすると、かな漢字変換用辞書が設定されます。

A.2.2.3 キーの割り当て

日本語入力時のキーを設定します。

キーコードの表記方法は、8進数、10進数、16進数が使用できます。プログラミング言語 C の表記方法に準じます。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「キーの割り当て」を選択します。



図 A-13 キーの割り当て設定画面

(1) ~ (5) については表 A-6 を参照してください。

表 A-6 キーの割り当て設定画面の説明

(1)	キーコードを追加する
(2)	選択したキーコードを変更する
(3)	選択したキーコードを削除する
(4)	指定したキーコードでキーの割り当てを行う
(5)	ウィンドウが開いた時の状態に戻す
(6)	出荷時の設定に戻す

表 A-6 キーの割り当て設定画面の説明 続く

(7)	設定を行わずにウィンドウを閉じる
(8)	キーの割り当て設定操作のヘルプを表示する

モード番号の内容は表 A-7 を参照してください。

表 A-7 モード番号の内容

モード番号	内容
0	変換結果を修正している状態
1	文字を入力している状態
2	変換後、文節の長さを伸ばしたり、縮めたりしている状態
3	バッファに何も文字が入っていない状態
4	カーソルを動かしながら、候補を選択している状態

A.2.2.4 学習 / 変換 / 表示モード

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「学習 / 変換 / 表示モード」を選択します。

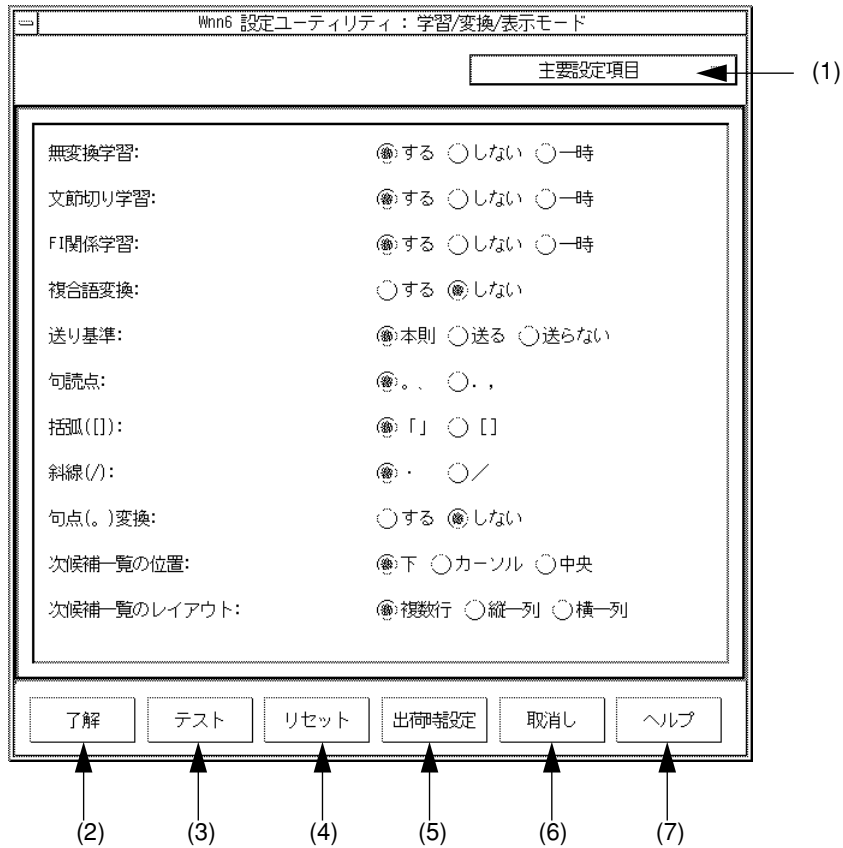


図 A-14 学習 / 変換 / 表示モード設定画面

(1) ~ (7) については表 A-8 を参照してください。

表 A-8 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明

(1)	全設定項目 / 主要設定項目を切り替える
(2)	指定したモードで Wnn6 の環境設定を行う
(3)	指定したモードを実行中の Wnn6 に反映するが、保存はしない
(4)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない
(5)	すべての設定を出荷時の設定に戻す。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない

表 A-8 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明 続く

(6)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない
(7)	操作のヘルプを表示する

カスタマイズできる内容を表 A-9 に示します。

表 A-9 学習 / 変換 / 表示モード 全設定項目

項目 (初期設定)	内容
無変換学習 (する)	「する」に設定すると、辞書に登録されていない「ひらがな」「カタカナ」「ローマ字」の候補が確定された場合に、自動的に辞書へ登録する
文節切り学習 (する)	「する」に設定すると、文節の切り直しを学習する
FI 関係学習 (する)	「する」に設定すると、FI 関係ユーザー辞書の学習を行う
送り基準学習 (する)	「する」に設定すると、送り基準を学習する
接頭語学習 (する)	「する」に設定すると、接頭語学習を行う
接尾語学習 (する)	「する」に設定すると、接尾語学習を行う
一般語学習 (する)	「する」に設定すると、一般語の学習を行う
頻度学習 (じわじわ学習)	頻度の学習方法を指定する
FI 頻度学習 (基準)	FI 頻度の学習方法を指定する
複合語変換 (しない)	「しない」に設定すると付属語を含まない候補を優先する
送り基準 (本則)	送りがなの基準規則を設定する
句読点 (。、)	句読点の変換を、"."、" "、" ⇔ "、"、" で設定する
括弧 (「」)	括弧の変換を、"「"、" ⇔ "、"「"、"」" で設定する
斜線 (・)	斜線の変換を、"・" ⇔ " / " で設定する

表 A-9 学習 / 変換 / 表示モード 全設定項目 続く

項目 (初期設定)	内容
揺らぎ処理 (しない)	「しない」に設定すると、揺らぎ処理を行わない
連濁処理 (しない)	「しない」に設定すると連濁処理を行わない
最終使用最優先 (する)	「する」に設定すると、最終使用を最優先する
初期設定： 接頭語 -お、ご/御 (ひらがな) 数字 (全角 - カンマ無) アルファベット (全角) シンボル (JIS)	接頭語、数字、アルファベット、シンボルの初期設定を指定する
単漢字を変換に使用 (しない)	「しない」に設定すると、単漢字を変換に使用しない
人名を変換に使用 (する)	「する」に設定すると、人名を変換に使用する
地名を変換に使用 (する)	「する」に設定すると、地名を変換に使用する
句点変換 (しない)	「しない」に設定すると、読みの入力中に句点 (。) を入力してもかな漢字変換が開始されない
候補一覧の位置 (下)	候補一覧のウィンドウの表示位置を設定する
候補一覧のレイアウト (複数行)	候補一覧ウィンドウに候補を配置する形式を設定する

A.3 ユーザーカスタマイズ

「ユーザーカスタマイズ」では次の設定が行えます。

- 学習 / 変換 / 表示モード
- 入力スタイル
- 標準かな漢字変換インタフェース
- かな漢字変換辞書
- ローマ字かな変換テーブル

Wnn6 は「ユーザーカスタマイズ」で設定された内容で、起動時の環境設定を行います。ユーザーによる設定が行われていない場合は、「システム管理用」メニューの「システムデフォルト」の設定内容で環境設定を行います。

A.3.1 一般ユーザー向けカスタマイズ

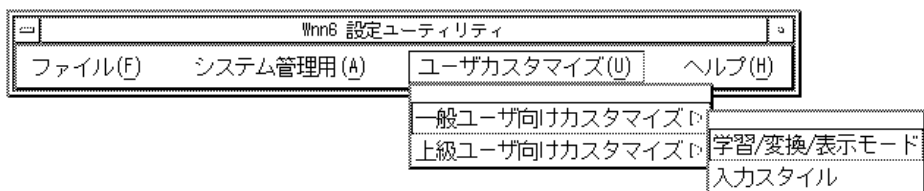


図 A-15 Wnn6 設定ユーティリティ「一般ユーザー向けカスタマイズ」

A.3.1.1 学習 / 変換 / 表示モード

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「学習 / 変換 / 表示モード」と同じです。58ページの節A.2.2.4 「学習 / 変換 / 表示モード」を参照してください。

A.3.1.2 入カスタイル

入カスタイルを設定します。

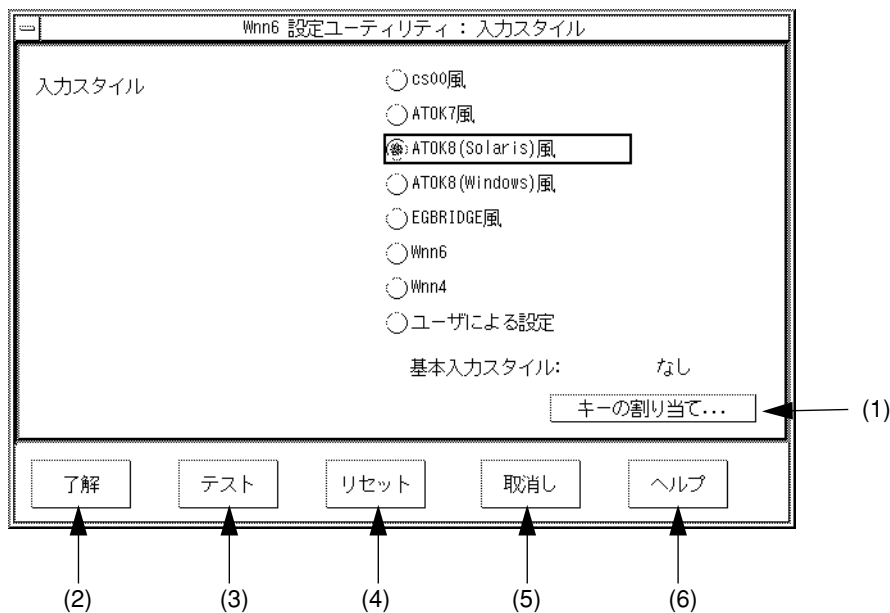


図 A-16 入力スタイル設定画面

(1) ~ (6) については表 A-10 を参照してください。

表 A-10 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明

(1)	選択した入力スタイルのキーバインド設定を行う
(2)	選択した入力スタイルを適用する
(3)	入力スタイルを試す。保存はされない
(4)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(5)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(6)	操作のヘルプを表示する

「キーの割り当て」ボタンをクリックすると、選択されているスタイルのキーバインド機能を編集することができます。

詳しくは 56 ページの節 A.2.2.3 「キーの割り当て」を参照してください。

A.3.2 上級ユーザー向けカスタマイズ

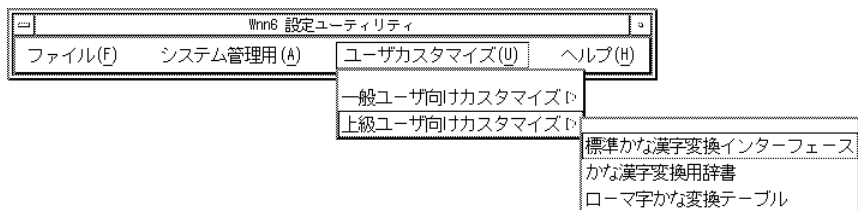


図 A-17 Wnn6 設定ユーティリティ「上級ユーザー向けカスタマイズ」

A.3.2.1 標準かな漢字変換インターフェース

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「標準かな漢字変換インターフェース」と同じです。51ページの節A.2.2.1「標準かな漢字変換インターフェース」を参照してください。

A.3.2.2 かな漢字変換用辞書

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「かな漢字変換用辞書」と同じです。54ページの節A.2.2.2「かな漢字変換用辞書」を参照してください。

A.3.2.3 ローマ字かな変換テーブル

使用中の入力スタイルに対応するローマ字かな変換を編集します。

左側に入力文字 (アルファベット)、右側に出力文字 (ひらがな) が表示されています。

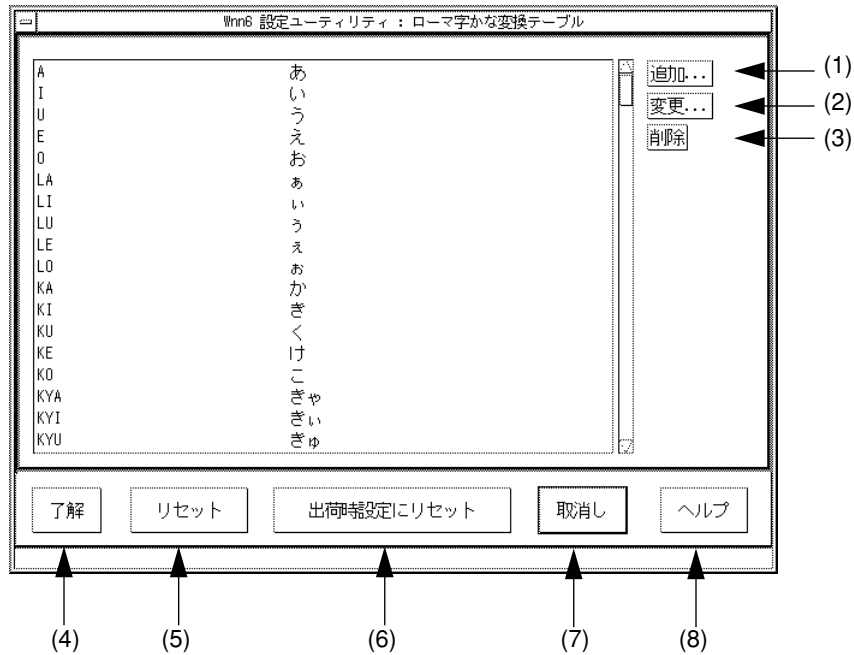


図 A-18 ローマ字かな変換テーブル設定画面

(1) ~ (8) については表 A-11 を参照してください。

表 A-11 ローマ字かな変換テーブル設定画面の説明

(1)	ローマ字かな変換を追加する
(2)	選択したローマ字かな変換を変更する
(3)	選択したローマ字かな変換を削除する
(4)	編集した内容でローマ字かな変換テーブルを設定する
(5)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(6)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(7)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(8)	操作のヘルプを表示する

「追加」、「変更」ボタンをクリックすると、入力文字と出力文字を設定するウィンドウが開きます。

The image shows a dialog box titled "ローマ字かな変換テーブル：追加" (Roman Letter Kana Conversion Table: Add). It contains two text input fields: "入力文字:" (Input Character) and "出力文字:" (Output Character). Below the input fields are three buttons: "了解" (OK), "取消し" (Cancel), and "ヘルプ" (Help). At the bottom of the dialog, there is a status bar displaying "[---]".

図 A-19 ローマ字かな変換テーブル 編集ウィンドウ

入力文字は、半角英字、記号 3 文字以内です。出力文字はひらがな、カタカナ 3 文字以内です。

補助漢字

この章では、補助漢字を使用しないようにする設定方法について説明します。

B.1 部首入力で補助漢字を使わないようにする

- ◆ 次のコマンドを実行します。

以下の設定は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# cd /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/bushu
sun# rm bushu.dic
sun# ln -s bushu.dic.no_JISX0212 bushu.dic
```

B.2 単漢字変換で補助漢字の候補を出さないようにする

Wnn6 設定ユーティリティの「システムデフォルト」から「かな漢字変換用辞書」を選択します。

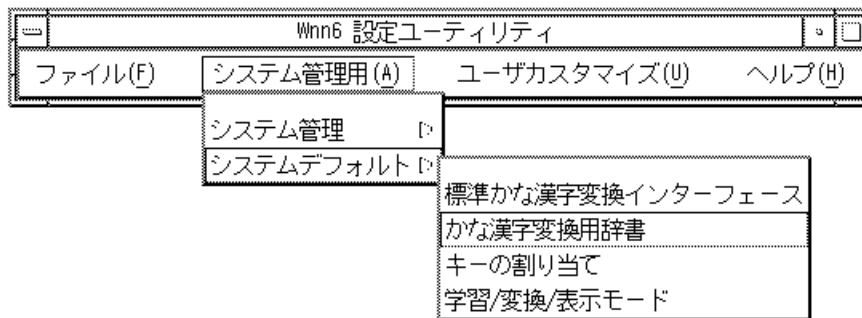


図 B-1 Wnn6 設定ユーティリティメニュー

「iwanami/tankan3.dic - 1 1 1 - - 0」を選択します。「削除」ボタンをクリックして一覧から削除し、「了解」ボタンをクリックします。

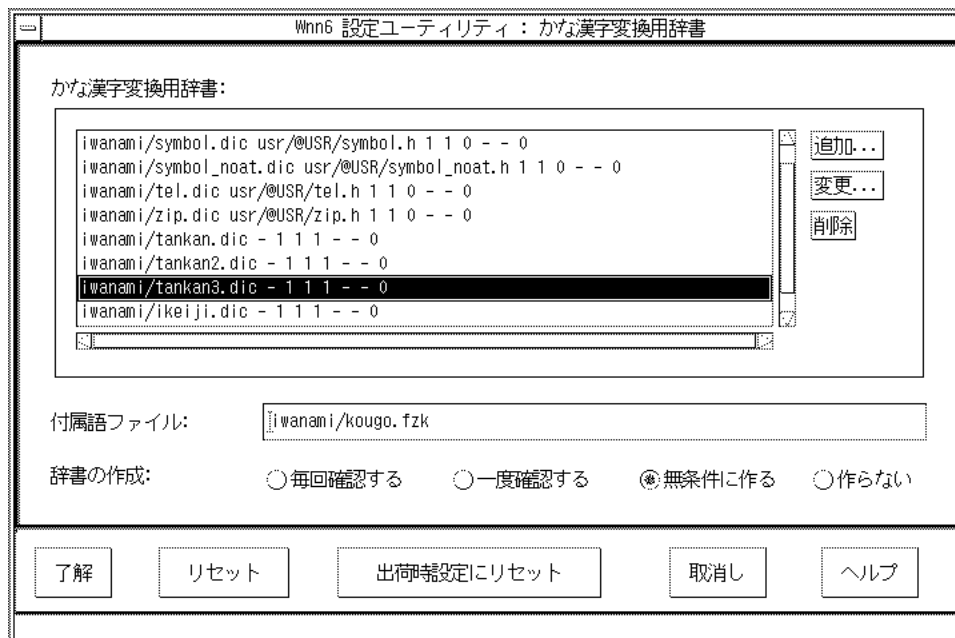


図 B-2 かな漢字変換用辞書設定画面

エラーメッセージ一覧

この章では、Wnn6 のシステムから通知されるエラーメッセージについて説明します。

Wnn6 は、クライアント / サーバー方式で構成されています。サーバー側で発生したエラーは、サーバーと接続するクライアントアプリケーション (Wnn6/Htt、uum、wnndictutil、wnnenvutil、wnnoffline、wnnudmerge など) に、エラーメッセージとして通知されます。

C.1 かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー (wnnds/jsrver)

表 C-1 エラーメッセージ (かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Access control: Can't add localhost	localhost にアクセス許可を与えることができない。 localhost のネットワーク設定状態を確認する
Access control: Can't get my hostname	jsrver のホスト情報を得ることができない。 ホスト情報を設定する

表 C-1 エラーメッセージ (かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
Access control: Can't read accessfile XXXX.	アクセス制御ファイルを読み込むことができない。 ファイルの形式を確認する
Access control: Something erroroccurred	アクセス制御ファイルをオープンできない。 ファイルの存在、アクセス権を確認する
Access control: Specified file XXXX doesn't exist	アクセス制御ファイル (XXXX) をオープンできない。 ファイルの存在、アクセス権を確認する
Access control: There is no start character `{` in XXXX Access control: There is no end character `}' in XXXX	アクセス制御ファイル (XXXX) 中で形式に誤りがある。 形式を訂正する
Access control: Too few arguments at line: YY in XXXX Access control: Too many arguments at line: YY in XXXX	アクセス制御ファイル (XXXX) の (YY) 行目の形式に誤りがある。 形式を訂正する
Can't connect to wnnds	デフォルトの wnnds と接続することができない。 起動時の <code>-ds</code> オプション、または <code>jserrerrc</code> の <code>default_wnnds_list</code> で指定されているホストで <code>wnnds</code> が起動しているか確認する

表 C-1 エラーメッセージ (かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't malloc kaiseiki area Can't malloc work area Can't malloc dic_table[] Can't malloc files[] Can't malloc socks Can't malloc cblk Can't malloc client Can't malloc registration[]	作業用メモリー領域を初期化することができない。 使用可能なメモリー領域を確保する
Can't open scriptfile XXXX.	サーバーのログファイル (XXXX) をオープンすることができない。 ファイルのパス名、アクセス権を確認する
jserver: Can't create socket. jserver: Can't bind socket. jserver: Can't listen socket.	UNIX ドメインの通信用ソケットの初期化でエラーが発生した。 ネットワークの設定、状態を確認する
Usage: jserver [-f <initializefile> -s <script-file("- " for stderr)> -h <hinsi_file> -pno <port NO> -N <portno offset> -ds <default_wnnds_list (host1/ portno,host2/portno, host3/ portno)> +ds(No use default wnnds) -A <access_control_file> -L <license server name>]	jserver 起動時のオプション指定に誤りがある。 指定可能なオプションの使用方法を確認する
Usage: wnnds [-s <script-file("- " for stderr)> -pno <port NO> -N <portno offset>	wnnds 起動時のオプション指定に誤りがある。 指定可能なオプションの使用方法を確認する
wnnds: Can't bind inet-socket jserver: Can't bind inet-socket	指定されたポート番号で既にサーバーが起動されている。 起動するポート番号を (-N、-pno) オプションで変更する

表 C-1 エラーメッセージ (かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
wnn6: Can't create inet-socket wnn6: Can't listen inet-socket jserver: Can't create inet-socket jserver: Can't listen inet-socket	インターネットドメインの通信用ソケットの初期化でエラーが発生した。 ネットワークの設定、状態を確認する
wnn6: Select error jserver: Select error	通信用ソケットの select 処理でエラーが発生した。 ネットワークの設定、状態を確認する

C.2日本語入力インタフェース (Wnn6/Http)

表 C-2 エラーメッセージ (日本語入力インタフェース)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't connect server (at XXX) Can't connect server	jserverと接続できない。 jserverが起動していない場合は、jserverを起動する。その後、Wnn6/Http を再起動するか、reconnect_jserver により再接続する。 jserver が起動している場合は、ポートを確認する
Can't create FontSet	指定したフォントは現在使用しているマシンに存在しない。 リソース "xjsi*fotSet:" または "-fs" オプションで、使用可能なフォント名を指定して、再起動する
Can't open file XXX	指定されたファイル XXX が存在しないか、ファイルへのアクセス権がない。 ファイル XXX の存在、アクセス権を確認する

表 C-2 エラーメッセージ (日本語入力インタフェース) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't run wnndictutil	wnndictutil を起動することができない。 wnndictutil が正しくインストールされているか、または、wnndictutil のパスの設定が正しいかを確認する
Can't run wnnenvutil	wnnenvutil を起動することができない。 wnnenvutil が正しくインストールされているか、または、wnnenvutil のパスの設定が正しいかを確認する
I am already running.	Wnn6/Htt は既に起動している。 起動の必要はない
In Unmkey file "XXX" YYY Can't expand	YYY を展開できない。 キーバインド設定ファイル unmkey でキーまたはキーコードの記述に誤りがある。 cvt_xim_tbl ファイルを参照して、キーまたはキーコードを修正する
Unknown entry name	キーバインド設定ファイルで、不適当なキーバインドの機能名が指定された。 「キーバインドの設定」を参照して、正しい機能名を指定する。
Wrong key bindings in file XXX	指定されたキーバインド設定ファイル XXX において、機能名、キー、キーコードの記述に誤りがあるため、キーバインドが実行されない。 XXX での記述を修正する
候補が多過ぎて次候補が取り出せません	現在の環境では、メモリーが不足している。 不要なプログラムを終了して、空きメモリーを確保の上、再度変換を実行する。
指定された辞書は、登録可能ではありません	システム辞書の単語を削除しようとしている。 システム辞書の単語を削除することはできない

表 C-2 エラーメッセージ (日本語入力インタフェース) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
リードオンリーの辞書のエントリーは登録 / 削除できません	登録不可能な辞書に対して、単語を削除しようとしている。 単語の削除は、ユーザー辞書でのみ実行できる
リードオンリーの頻度は変更できません	頻度更新不可能な頻度情報に対して、頻度を更新しようとしている。 頻度の更新は、更新可能な頻度情報に対してのみ実行できる

C.3 オフライン学習ユーティリティ (wnnoffline)

表 C-3 エラーメッセージ (オフライン学習ユーティリティ)

エラーメッセージ	原因 / 対応
jsserver が起動できません	登録語自動反映モジュール起動時に、子プロセスで jsserver を起動することができない
jsserver 設定ファイル XX がオープンできません	登録語自動反映モジュールを起動時に、子プロセスで jsserver を起動するが、その際 jserrrc ファイルを読み込むことができない。 XX で表示されたファイルの存在、アクセス権を確認する
main():jsserver がオープンできません。 js_open() err []	登録語自動反映モジュールから、子プロセスで起動した jsserver をオープンすることができない
main():jsserver に接続できません。 js_connect() err []	登録語自動反映モジュールから、子プロセスで起動した jsserver に接続することができない
-1 オプションが 2 回以上指定されています	オフライン学習の起動時に、“-1” オプションが 2 回以上使用されている

表 C-3 エラーメッセージ (オフライン学習ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
-r オプションが 2 回以上指定されています	オフライン学習の起動時に、“-r” オプションが 2 回以上使用されている
処理できるユーザー辞書の総数は 1024 辞書までです。[指定辞書数: XX]	udmergerc で指定されたユーザー辞書数 XX が 1024 を超えている
設定ファイルが指定されていません	“-r” オプションに続いて、offlinerc ファイルが指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー： mergedic にマージ辞書名が指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ mergedic にマージ辞書名が指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー： udmdir,mergedic,userid の順番が誤っています (XX 行)	udmergerc ファイルで、エントリの記述が uddir-mergedic-userid の順に指定されていない。 udmergerc ファイルを修正する
登録語学習設定ファイル記述エラー： udmdir,mergedic,userid のどれかに記述洩れがあります (XX 行)	udmergerc ファイルに記述洩れがある。 udmergerc ファイルを修正する
登録語学習設定ファイル記述エラー： udmdir にディレクトリが指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ uddir にユーザー辞書名が指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー： userid にマージ辞書名が指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ userid にユーザー数が指定されていない
登録語学習設定ファイルに指定された XX の下位にはユーザー辞書はありません	udmergerc ファイルのエントリ uddir で指定されたユーザー辞書が存在しない
登録語学習の設定ファイル XX がオープンできません	登録語自動反映モジュール起動時の “-f” オプションで指定された udmergerc ファイルが存在しない
不明なオプション XX が指定されています	オフライン学習のコマンドラインで、未定義のオプション XX が使用されている
不要な引数 XX が指定されています	オフライン学習のコマンドラインで、不要な引数 XX が渡されている

表 C-3 エラーメッセージ (オフライン学習ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
ログファイル /tmp/udmerge_errlog が作成できません	登録語自動反映モジュールを起動した時に、エラーログファイル /tmp/udmerge_errlog を作成することができない。 ディスクの空き容量などを確認する
ログファイル /usr/tmp/merge.log がオープンできません	オフライン学習からの登録語自動反映モジュールの起動で、ログファイル /var/tmp/merge.log を書き込み用にオープンすることができない
ログファイルが指定されていません	"-l" オプションに続いて、ログファイル名が指定されていない

C.4Wnn6 辞書ユーティリティ (wnndictutil)

表 C-4 エラーメッセージ (Wnn6 辞書ユーティリティ)

エラーメッセージ	原因 / 対応
同じ辞書はマージできません	辞書併合で、併合元辞書と併合先辞書に同一辞書が指定されている
環境に辞書が存在しません	/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic \ /usr/ にユーザー辞書ファイルがない
検索する辞書が指定されていません	単語検索の実行時に、検索する辞書が指定されていない。 検索する辞書を選択して、再度実行する
検索する読みが指定されていません	単語検索の実行時に、単語の読みが入力されていない。 読みを入力して、再度実行する

表 C-4 エラーメッセージ (Wnn6 辞書ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
コメントが長過ぎます	コメント編集で入力できる文字列の長さは、漢字、読み、コメントを合わせて最大 252 文字まで (半角文字も 1 文字に数える)
辞書をバックアップできません	ディスクの空き容量の不足またはパーミッションなどの要因により、バックアップファイルを作成することができない。
辞書をリカバーできません。終了します	ディスクの空き容量の不足またはパーミッションなどの要因により、辞書をリカバーできない
辞書をリストアできません	ディスクの空き容量の不足またはパーミッションなどの要因により、辞書を復元できない
指定された単語が存在しません	単語検索の結果、該当する単語は指定された辞書に登録されていない
前回のリカバーファイルを削除できません	リカバーファイルへのアクセス権がないなどの原因が考えられる。パーミッションを確認する
前回のバックアップファイルを削除できません	辞書のバックアップで、前回同一辞書のバックアップを行なっている場合、今回のバックアップで、前回のバックアップファイルを削除するが、その削除にあたって、バックアップファイルに書き込みのアクセス権がない
テキストファイルが指定されていません	一括登録 / 一括削除の実行時に、テキストファイルが指定されていない。 テキストファイル名を入力して、再度実行する
テキストファイルが読めません	一括登録 / 一括削除で入力されたテキストファイルに、読み込みのアクセス権がない
登録する漢字、読みが長過ぎます	単語登録で、漢字、読みの入力できる文字列の長さは、最大 252 文字まで (半角文字も 1 文字に数える)
登録する漢字が入力されていません	単語登録の実行時に、漢字が入力されていない。漢字を入力して、再度実行する

表 C-4 エラーメッセージ (Wnn6 辞書ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
登録する読みが入力されていません	単語登録の実行時に、読みが入力されていない。読みを入力して、再度実行する
バックアップされていないのでリストアできません	辞書の保存が実行されていないため、辞書の復元を実行することができない
頻度は数値で指定して下さい	頻度編集で、頻度に数値以外の文字が入力されている
他のクライアントが使用中の辞書はリストアできません	辞書を復元する時に、他のクライアントによる辞書の参照が行われている
メモリーを確保できません。終了します	辞書ユーティリティを実行するにあたって、メモリー容量が不足している

C.5Wnn6 辞書変換ユーティリティ (wnnotow)

表 C-5 エラーメッセージ (Wnn6 辞書変換ユーティリティ)

エラーメッセージ	原因 / 対応
出力ファイル XXXX が書き込めません	出力ファイル XXXX への書き込みのアクセス権がない
書式ファイル XXXX が読み込めません	書式ファイル XXXX への読み込みのアクセス権がないか、ファイル XXXX が存在しない
書式ファイル：単語区切りと単語無効に重複部分があります	書式データのキーワード「単語区切り」と「単語無効」に同じ文字が指定されている
書式ファイル：単語識別と単語区切りに重複部分があります	書式データのキーワード「単語識別」と「単語区切り」に同じ文字が指定されている
書式ファイル：単語識別と単語無効に重複部分があります	書式データのキーワード「単語識別」と「単語無効」に同じ文字が指定されている

表 C-5 エラーメッセージ (Wnn6 辞書変換ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
書式ファイル：読み区切りと読み無効に重複部分があります	書式データのキーワード「読み区切り」と「読み無効」に同じ文字が指定されている
書式ファイルの XX 行：キーワードエラー	存在しないキーワード名などが記述されている
書式ファイルの XX 行：形式エラー	書式データがフォーマット通りに記述されていない。 書式データや品詞対応の定義で、"=" など符号の抜けが考えられる
書式ファイルの XX 行：出力辞書品詞定義エラー	出力辞書品詞名称が定義されていません。
書式ファイルの XX 行：出力辞書品詞名 YYY は Wnn の品詞ではありません	出力辞書品詞名称に Wnn6 の辞書の品詞に存在しない名称を指定している
書式ファイルの XX 行：定義値が不適切です	書式データのキーワード「読み」に 1、2 以外の数値指定などを行なっている
書式ファイルの XX 行：定義内容の長さエラー	書式データのキーワード「読み区切り」「読み無効」「単語識別」などに、1 バイトに満たない記述または 4 バイトを超える記述がある
書式ファイルの XX 行：入力辞書品詞「YYYY」は定義されています。この行は無視します	複数の同一入力辞書品詞名称への対応が存在する
書式ファイルの XX 行：入力辞書品詞定義エラー	入力辞書品詞名称が定義されていない
デバイスに空きがないため、出力ファイルは作成できません	ディスクの空き容量が不足しているため、出力ファイルを生成することができない
デバイスに空きがないため、ログファイルは作成できません	ディスクの空き容量が不足しているため、ログファイルを生成することができない
入力ファイル XXXX が読み込めません	入力ファイル XXXX への読み込みのアクセス権がないか、ファイル XXXX が存在しない

表 C-5 エラーメッセージ (Wnn6 辞書変換ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
頻度値エラー	"-h" オプションで頻度値に 0 以下の値が指定されている。正常な頻度値を指定する
ログファイル XXXX が書き込めません	ログファイル XXXX への書き込みのアクセス権がない

C.6Wnn6 設定ユーティリティ (wnnenvutil)

表 C-6 エラーメッセージ (Wnn6 設定ユーティリティ)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Key 変更の詳細画面がオープンされています。書き込みはできません	キーバインドの変更をする時、詳細画面の方でもキーバインド変更の画面が開かれており、どちらかの変更が無効になる可能性がある。 詳細画面を閉じてから書き込みを行う
書き込み許可がないためセーブできません	指定されたファイル名で保存できない。 ディレクトリに <code>write</code> フラグを立てる
現在のファイルの内容が失われます よろしいですか？	現在編集中のファイルの内容が無効になる。保存する場合は、一度保存を実行してから次のメニューを選択する
このディレクトリはリードオンリーです	指定されたディレクトリに対して、読み込みのアクセス権しかないため、書き込みが行えない。 書き込みを行う場合は、ディレクトリに <code>write</code> フラグを立てる
絶対パスが長過ぎます	ファイルを絶対パスで指定した時に、ディレクトリの深さが 128 バイトを超えている。 深すぎるディレクトリでは使用することができない

表 C-6 エラーメッセージ (Wnn6 設定ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
ただいまファイルを編集集中です	同時に、同一ファイルへのアクセスが起こっている。 現在編集中のファイルをクローズしてから、再度アクセスする
入力した文字列が長過ぎます	入力された文字列が長過ぎる。 入力可能な文字列は 128 バイト以下
パラメタの入力が不完全です	必要なパラメタに値が入力されていないためファイルを保存できない。 オンラインマニュアルを確認の上、パラメタに値を入力する
ファイルあるいはディレクトリにアクセスできません	指定されたファイル (ディレクトリ) が存在しないか、ファイル (ディレクトリ) に対して読み込みのアクセス権がない。 ファイル (ディレクトリ) の存在、アクセス権を確認する
ファイルがオープンできませんでした FI 設定はできません	かな漢字変換の初期化を設定したとき、なんらかの原因でファイルがオープンできず、FI 設定情報を取り出すことができなかった。 一度デフォルトを読み込んで変更するか、Wnn6 設定ユーティリティで値を設定する
ファイル名が正しくありません	編集画面と読み込んだファイルの整合がとれていない。 編集画面に適応したファイルを選択する
ファイル名が長過ぎます	オンラインマニュアルでそれぞれのファイル名の最大値を確認の上、それ以下の長さで入力する
ファイルロードエラー	指定されたファイルをロードすることができない。 ファイルの存在、アクセス権を確認する

表 C-6 エラーメッセージ (Wnn6 設定ユーティリティ) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
メモリーを確保できません	Wnn6 設定ユーティリティでは、必要に応じてメモリーを確保するようにしているが、この確保に失敗した。 メモリーを十分に解放して使用する
モードファイルをコピーできません	キーバインドの変更と同時に、モード表も変更されるが、このモード表の変更に失敗している。 初期設定位置に対応するモードを確認する

C.7 ユーティリティ共通

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通)

エラーメッセージ	原因 / 対応
uumrc ファイルが存在しません	uum の初期化ファイルがない
uumrc ファイルの形式が誤っています	uum の初期化ファイルの形式を確認する
Wnn のファイルではありません	指定されたファイルの形式が不適合
環境に辞書が存在しません	指定辞書ファイルを確認する
単語が長過ぎます	単語登録で「単語」に入力できる文字列は読みをあわせて最大 252 文字まで
クライアントの読み込んだファイルではありません	変換に使用している環境の、ファイル情報を確認する
候補が多すぎて次候補が取り出せません	メモリー容量が不足している
読みが長すぎて次候補が取り出せません	読みを短くする

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
このクライアントが読み込んだファイルはありません	他のクライアントが使用しているファイルを保存またはメモリ解放しようとした
これ以上ファイルを読み込むことができません	メモリー容量が不足している
辞書テーブルが一杯です	変換時に使用する辞書の数が多過ぎる。 辞書数を減らす
辞書ではありません	辞書ファイル名の指定に誤りがある
辞書のエントリが多過ぎます	辞書内のエントリ (単語) が多過ぎて、作業用のメモリー領域を確保することができない
指定された辞書は、逆引き可能ではありません	指定された辞書が逆引き対応になっていない。 wnnenvrc ファイルによる設定と辞書との対応を確認する
指定された辞書は、登録可能ではありません	システム辞書に登録しようとした。 辞書ファイルを確認する
指定された単語が存在しません	単語検索などで、指定された単語が辞書に登録されていない
指定された単語が存在しません	入力された読みに対して、変換候補 (単語) がない
その操作はサポートされていません	指定された操作はサポートされていない
その番号の辞書は、使われていません	環境設定で登録されていない辞書名が指定された。 辞書の設定を確認する
ディレクトリを作成することができません	作業ディレクトリに対して、書き込みのアクセス権がない
登録する読みが入力されていません	単語登録で「読み」が入力されていない

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
パスワードが間違っています	頻度情報へのアクセスで、パスワードに誤りがある。 パスワードを確認する
パスワードの入っているファイルがオープンできません	頻度情報へのアクセスのために、指定されたパスワードファイルが存在しないか、読み込みのアクセス権がない。ファイルの存在、アクセス権を確認する
品詞番号が間違っています	指定された品詞の、品詞番号を確認する
品詞ファイルが大き過ぎます	品詞ファイルで不要と思われる設定を削減する
品詞ファイルが存在しません	品詞ファイル名およびパスを確認する
品詞ファイルが読み込まれていません	品詞ファイル名およびパスを確認する
品詞ファイルの内容が間違っています	品詞ファイルのフォーマットを確認する
品詞名が間違っています	指定された品詞名を確認する
頻度ファイルが、指定された辞書の頻度ファイルではありません	指定した辞書に対応する頻度ファイルを指定する
頻度ファイルではありません	頻度ファイル名の指定に誤りがある
ファイルがオープンできません	指定されたファイルが存在しないか、ファイルへのアクセス権がない。ファイルの存在、アクセス権を確認する
ファイルが削除できません	指定されたファイルを削除 (unlink) できない。 ファイルのアクセス権を確認する
ファイルが作成できません	作業ディレクトリに対して、書き込みのアクセス権がない
ファイルが存在しません	指定されたファイルが存在しないか、ファイルへのアクセス権がない。ファイルの存在、アクセス権を確認する

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
ファイルが読み込まれています	現在 jserver に読み込まれている設定ファイルを削除しようとした
ファイルの I-node と FILE_UNIQ を一致させる事ができません	jserver がファイルに書き込めない。 wnntouch コマンドで FILE UNIQ 情報を書き換える
ファイルを書き出すことができません	指定されたファイルに対して、書き込みのアクセス権がない
ファイルを読み込むことができません	指定されたファイルに対して、読み込みのアクセス権がない
付属語解析領域が不足しています	メモリー容量が不足している
付属語ファイルが読み込まれていません	設定ファイルで付属語ファイルの読み込みを指定する
付属語ファイルではありません	付属語ファイル名の指定に誤りがある
古いバージョンの付属語ファイルが設定されています	以前の Wnn のバージョンで作成された付属語ファイルを使用している。 Wnn6 の環境下で作成された付属語ファイルを使用する
変換しようとする文字列が長過ぎます	変換時の読み入力で、入力できる文字列の長さは最大 512 文字まで
メモリーを確保できません	メモリー容量が不足している
読みが長過ぎます	単語登録で「読み」に入力できる文字列は単語とあわせて最大 252 文字まで
リードオンリーの辞書のエントリーは登録 / 削除できません	登録可能でない (変更不可の設定時を含む) 辞書に対して、登録 / 削除を行なっている。 登録 (変更) 可能な辞書を確認する
リードオンリーの頻度は変更できません	変更不可の頻度に対して、変更を行なっている。 変更可能な頻度を確認する

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
ライセンスが取得できません	ライセンスが取得可能数を越えている。 ライセンスサーバーとの接続を確認する
jservice を再起動してください	jservice を起動する
jservice により接続を拒否されました	jservice と接続できない。 アクセス許可ファイルなどで、jservice のアクセス制御状況を確認する
切替えるべき jservice が存在しません	jservice の動作を確認する
クライアントの生成した環境ではありません	現在の環境では、変換には不適當である。 ご使用の環境を確認する
そのような拡張プロトコルはサポートされていません	サポートされていない拡張プロトコルが要求された。 ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
そのようなプロトコルはサポートされていません	サポートされていないプロトコルが要求された。 ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
そのようなホストはアクセスリストに存在しません	アクセス許可ファイルに指定のホストマシン名が記述されているか確認する
そのようなユーザーはアクセスリストに存在しません	アクセス許可ファイルに指定のユーザー名が記述されているか確認する
通信プロトコルのバージョンが合っていません	ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
メモリーを確保できません	メモリー容量が不足している
include のレベルが多過ぎます	include できるのは最大で 10 回の深さ (レベル) まで
jservice のバージョンが古いため一時学習辞書の機能は使えません	Wnn6 の jservice を起動の上使用する

表 C-7 表 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) 続く

エラーメッセージ	原因 / 対応
頻度ファイル XXXX が指定された辞書の頻度ファイルではありません	辞書と頻度の対応が不適合である
ファイル XXXX がオープンできません	ファイル XXXX が存在しないか、アクセス権がない
ファイル XXXX で環境設定中に、エラーが発生したために、設定を中止します	ファイル XXXX の形式を確認する
wnnds を再起動してください	wnnds を起動する
wnnds との通信プロトコルのバージョンがありません	jservice と wnnds のバージョンを確認する
wnnds により接続を拒否されました	アクセス許可ファイルで、現在のアクセス制御状況を確認する
サーバーがロックされています	オフライン学習が起動しているため、jservice または wnnds がロックされている。オフライン学習が終了するまで待つ
FI 関係辞書ファイルではありません	FI 関係辞書ファイル名の指定が不适当
FI 関係システム辞書ではありません	FI 関係システム辞書ファイル名の指定が不适当
FI 関係頻度ファイルではありません	FI 関係頻度ファイル名の指定が不适当
FI 関係ユーザー辞書ではありません	FI 関係ユーザー辞書ファイル名の指定が不适当

索引

B

bunsetsu, 3, 6
bushu.dic, 3
bushu.dic.JISX0212, 3
bushu.dic.no_JISX0212, 4
bushu.fzk, 3, 4

C

cron, 31
crontab, 37

D

decrease_percent, 33
delete_entry, 33
dpkeyallow, 42
dpkeylist, 42
dpkeyserv, 41
dpkeyservlist, 42
dpkeystat, 41

E

Entries, 29

F

fisd, 3, 5
fisd.h, 3, 7
fiud, 3, 6
FI 関係システム辞書, 12
FI 関係システム辞書ファイル, 5
FI 関係ユーザー辞書ファイル, 6

FI 関係ユーザー頻度情報ファイル, 7

H

hinsi.data, 9

I

ikeiji.dic, 3, 5

J

jserver, 12, 17
 エラーメッセージ, 69
jserverrc, 18
jserver_list, 32

K

kihon.dic, 3, 4
kihon.h, 3, 7
kougo.fzk, 3, 5, 13

M

mergedic, 35, 36
muhenkan, 3, 6

O

offlinerc, 31, 35
 キーワード, 32
 設定, 31
offline_dir, 33

S

S94Wnn6, 18
symbol.dic, 3, 4
symbol.h, 3, 7
symbol_noat.dic, 3, 4
symbol_noat.h, 3, 7

T

tankan.dic, 3, 4
tankan2.dic, 3, 4
tankan3.dic, 3, 5, 68
target, 32
tel.dic, 3, 5
tel.h, 3, 7

U

ud, 3, 6
uddir, 35, 36
udmergerc, 31, 35
 udmergerc の設定, 35
 キーワード, 36
udmerge_command, 33
update_count, 34
usernum, 35, 36
uum, 69

W

Wnn6/Htt, 69
 エラーメッセージ, 72
Wnn6 辞書ファイル構成, 3
Wnn6 辞書変換ユーティリティ
 エラーメッセージ, 78
Wnn6 辞書ユーティリティ
 エラーメッセージ, 76
Wnn6 設定ユーティリティ, 43
 エラーメッセージ, 80
 学習 / 変換 / 表示モード, 58
 キーの割り当て, 56
 起動方法, 43
 システム管理用, 43
 システムデフォルト, 51
 標準かな漢字変換インタフェース, 51
 メニュー, 43
 ユーザーカスタマイズ, 43, 61
Wnn6 の辞書, 1

wnnaccess, 20
wnnatod, 15
wnndictutil, 69
 エラーメッセージ, 74, 76
wnnds, 18
 エラーメッセージ, 69
wnnds_list, 33
wnndtoa, 15
wnnenvrc, 14
wnnenvutil, 43, 69
 エラーメッセージ, 80
wnnoffline, 37, 69
wnnotow
 エラーメッセージ, 78
wnntouch, 16
wnnudmerge, 69

Z

zip.dic, 3, 5
zip.h, 3, 7

あ

アクセスコントロール
 情報取得, 20
 設定, 20
 表示する, 20
アクセス制御, 19, 20

い

一般ユーザー向けカスタマイズ, 62
インタフェース, 51

え

エラーメッセージ
 Wnn6/Htt, 72
 Wnn6 辞書変換ユーティリティ, 78
 Wnn6 辞書ユーティリティ, 76
 Wnn6 設定ユーティリティ, 80
jserver, 69
wnndictutil, 74, 76
wnnds, 69
wnnenvutil, 80

wnnotow, 78
オフライン学習ユーティリティ, 74
かな漢字変換サーバー, 69
辞書引きサーバー, 69
日本語入力インタフェース, 72
ユーティリティ共通, 82
エラーメッセージ一覧, 69

お

オフライン学習, 25
cron の設定, 37
offlinerc の設定, 31
udmergerc のキーワード, 36
概要, 25
管理, 25
機能と動作, 25
設定, 31
オフライン学習ユーティリティ
エラーメッセージ, 74

か

学習 / 変換 / 表示モード, 58, 61
学習処理, 28
かな漢字変換サーバー, 17, 20, 39
jsrver, 19, 20, 39
エラーメッセージ, 69
基本設定, 21
ロック, 25
かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御, 48
かな漢字変換サーバー基本設定, 46
かな漢字変換サーバー接続パラメタ, 44
かな漢字変換サーバーの基本設定
jsrverrc, 21
かな漢字変換用辞書, 54
Wnn6 設定ユーティリティ, 54

き

キーの割り当て, 56

こ

固有名詞, 8

し

辞書

かな漢字変換辞書, 1
構成, 1
辞書ユーティリティ, 15
システム辞書, 1
バイナリデータ形式辞書, 13, 15
ヘッダー書き換え, 15
ユーザー辞書, 1
ユーザー頻度情報ファイル, 12
辞書引サーバー
ロックします, 25
辞書引きサーバー, 18, 20
wnnds, 19, 20
エラーメッセージ, 69
辞書引き処理, 18
システム管理, 44
システム管理用メニュー, 44
Wnn6 設定ユーティリティ, 44
インタフェース, 44
学習 / 変換 / 表示モード, 44
かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御, 44
かな漢字変換サーバー基本設定, 44
かな漢字変換用辞書, 44
キーの割り当て, 44
接続パラメタ, 44
システム辞書, 12
システム辞書ファイル, 4
システムデフォルト, 51
上級ユーザー向けカスタマイズ, 64
使用許諾
管理, 39
制御の流れ, 40
使用許諾情報, 39
管理に関するファイル, 42
自立語, 1

す

数助数詞, 9

た

単漢字変換
補助漢字の候補を出さない, 67
単語削除, 29

て

テキスト形式辞書, 13, 15
書式, 14

と

動詞, 8
動詞以外の用言, 8
登録語自動反映, 26
登録語自動反映機能, 35
特殊助数詞, 9
特殊数詞, 9
特殊接頭数詞, 9
特殊単独語, 9
特殊な動詞, 8

に

日本語入力インタフェース
エラーメッセージ, 72
入力スタイル, 62

は

バイナリデータ形式辞書, 13, 15

ひ

品詞, 7
品詞管理ファイル, 9
品詞の種類, 7
数助数詞, 9
疑似品詞, 8
固有名詞, 8
接頭語, 8
接尾語, 8
単漢字, 8
動詞, 8
動詞以外の用言, 8
特殊助数詞, 9
特殊数詞, 9
特殊接頭数詞, 9
特殊単独語, 9
特殊な動詞, 8
普通名詞, 8
頻度下げ, 28
頻度情報, 1
頻度情報ファイル, 11

FI 関係ユーザー頻度情報ファイル, 12
ユーザー頻度情報ファイル, 12

ふ

部首入力
補助漢字を使わない, 67
部首入力用辞書ファイル, 3
補助漢字を使わない, 4
部首入力用付属語情報ファイル, 4
付属語, 1
付属語情報ファイル, 5, 12
普通名詞, 8
文節学習辞書ファイル, 6

ほ

補助漢字, 67
保存ディレクトリの対応ファイル作成, 29

む

無変換学習辞書ファイル, 6

ゆ

ユーザーカスタマイズ, 61
一般ユーザー向け, 62
上級ユーザー向け, 64
ユーザー辞書, 1
ユーザー辞書ファイル, 5
ユーザー頻度情報ファイル, 6
ユーティリティ共通
エラーメッセージ, 82

ら

ライセンス
回収, 41
交付状況の表示, 41
ライセンスサーバー, 39
dpkeyserv, 39
アクセス制御ファイル, 42
起動, 41
データベース, 42

ろ

ローマ字かな変換テーブル, 64